

378

303

378-303



1200501453228

モロンビア

外務省通商局



始



昭和五年十月

コ  
ロ  
ン  
ビ  
ア

外務省通商局

378-303



緒言

發行所寄贈本

本書はパン・アメリカン・ユニオン発行のコロンビア編を基礎とし、英國海外貿易省發

行のリバブリック・オブ・コロンビア其他我在外公館の報告等を斟酌し、以てコロン

ビア國の一般狀況を知るに便ならしむる趣旨を以て編輯印刷したるものなり。

外務省通商局



梗概

面積—四十七萬六千九百十六平方哩（百二十三萬五千二百十四平方呎）（日本全面積の約二倍）

人口—六百六十一萬七千八百三十三人（日本の約二割）

首府—ボゴタ市（人口十八萬七千七百人）

國語—西班牙語

主要輸出品—珈琲、白金、金、エメラルド、家畜、皮革、バナナ、タグア（象牙棕櫚の實）、バナマ帽子、護謨、煙草等々

主要輸入品—織物、食糧品及調味料、諸金屬、農具及鑛業用具、鐵道材料、藥劑、紙類、文房具及事務用什器、機械類

氣候—海岸地方は熱帶的なれど内部高地は溫帶地域で健康に適す。首府ボゴタ市は海拔八千五百呎以上の高地に位する故四季を通じて涼しく従つて健康地である。

地勢—北方、カリベアン海及西方、太平洋に面し、三山脈國內を大體南北に縦斷しその一

はマグダレナ河の水源となる。マグダレナ河はカリブアン海に注ぐ大河にして可航水路九百哩に及ぶ。その他アラト、カウカ、セサール、ネチ、レブリハ、及ソガモソの諸河川も亦夫々航行の便がある。

入國準路—カリブアン海沿岸の主要な海港であるブエルト・コロンビア、(マグダレナ河口にあり、十八哩隔てるブランキヤ迄は鐵道の便がある)、カルタヘーナ、サンタ・マルタ及リオハチャは、何れも紐育より汽船の便あり又歐洲諸汽船會社航路の寄港地でもある。

太平洋沿岸の主たる海港としてはヅエナヴエンツラ、トウマコの兩港がある。最近我日本郵船會社南米航路船が前者に寄港を開始した。南米とは太平洋岸の近海航路により、又北方バナマとの間には連絡船がある。日本郵船に依りヅエナヴエンツラに直航する場合の外本邦よりコロムビアの各港に赴かんとする場合はバナマに於て乗換を爲すことを要する。又首府ボゴタより東北方ヴエネスエラ及エクアドール兩國との間には完全なる國道があり往來するもの頻繁である。

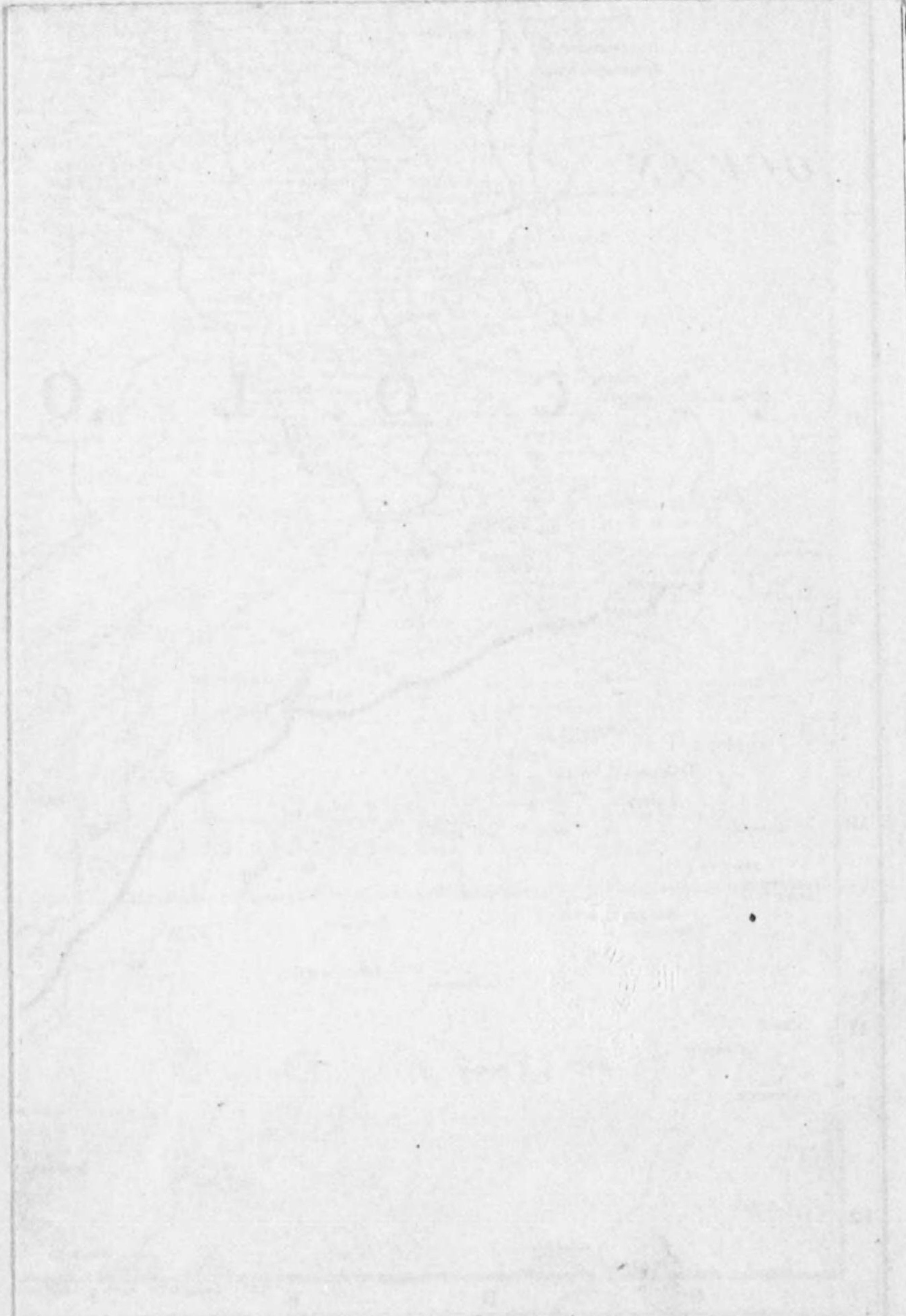
本邦とコロンビアの關係—本邦よりの輸入額は千九百二十六年に於て五〇三、二八九弗、絹其の

他の織物を主とし、玩具、陶磁器及麥稈真田等がある。本邦への輸出は殆どない。

國內在留邦人は總數五十名(昭和四年十月)、其の大部分は巴奈馬からの轉航者で理髮業を営む者が多い。一般に對日感情は良好で、日本人の入國には法律上何等障礙がなく、自由勞働移民は二百弗の「見せ金」を必要とするのみ。

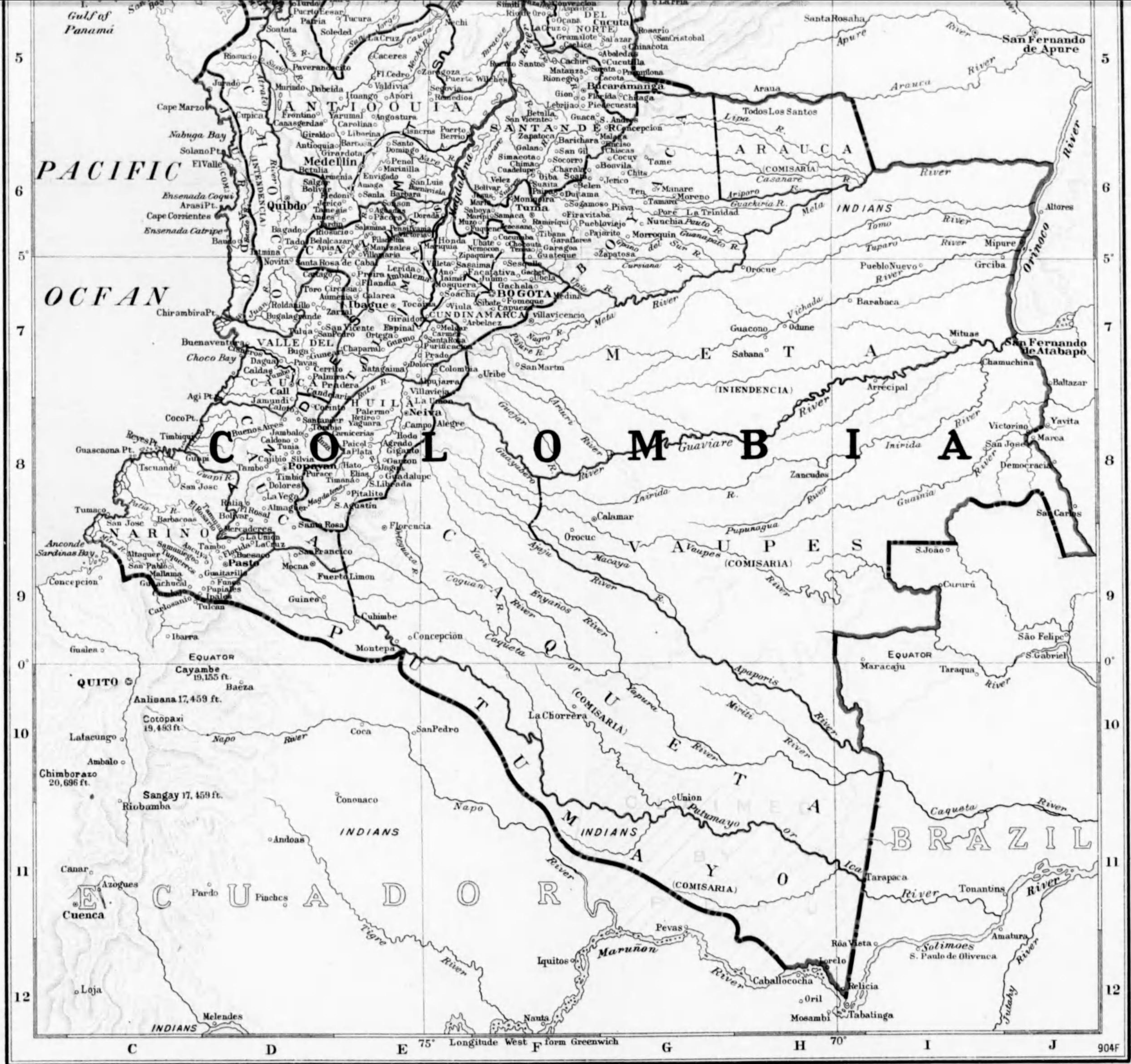
コロンビア渡航者心得—渡航者は先づ健康證明書、種痘證明書(指定六角病院料金五圓)及身分證明書を旅券を相添へコロンビア領事の査證を受ける。健康證明書、種痘證明書、認證料二ペソ(五圓)身分證明書も同じく二ペソ、旅券査證料は二ペソ、別に印紙代五ペソ(十二圓五十錢)を要する。

到着後五日以内に市廳に出頭し旅券と小形寫真二葉を提示して身分識別票(Cedula de Identidad)の交付を受けること(手数料、一ペソ)。之を所持せぬ者は河汽船會社の乗船切符を賣つて貰へない。



THE UNIVERSITY OF CHICAGO  
LIBRARY  
1100 EAST 58TH STREET  
CHICAGO, ILLINOIS 60637  
TEL: 773-936-3300  
WWW.CHICAGO.EDU





PACIFIC

OCEAN

# COLOMBIA

C D E 75° Longitude West F G H 70° I J 904F

5  
6  
5  
7  
8  
9  
0  
10  
11  
12

5  
6  
5  
7  
8  
9  
10  
11  
12





コロンビア國紋章



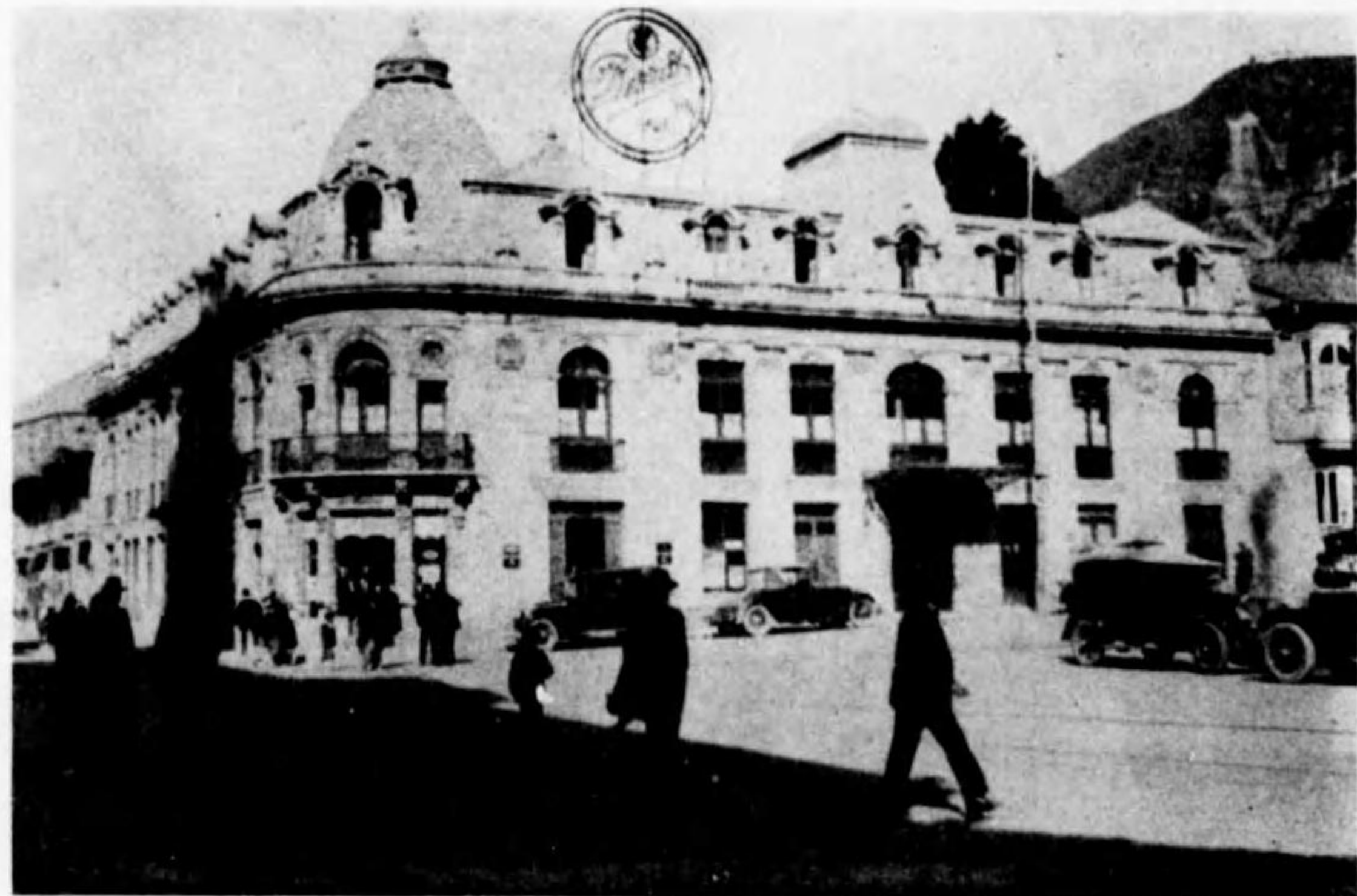
Bogotá, Costado Oriental  
首府ボゴタ市の一部



都會下層民の風俗



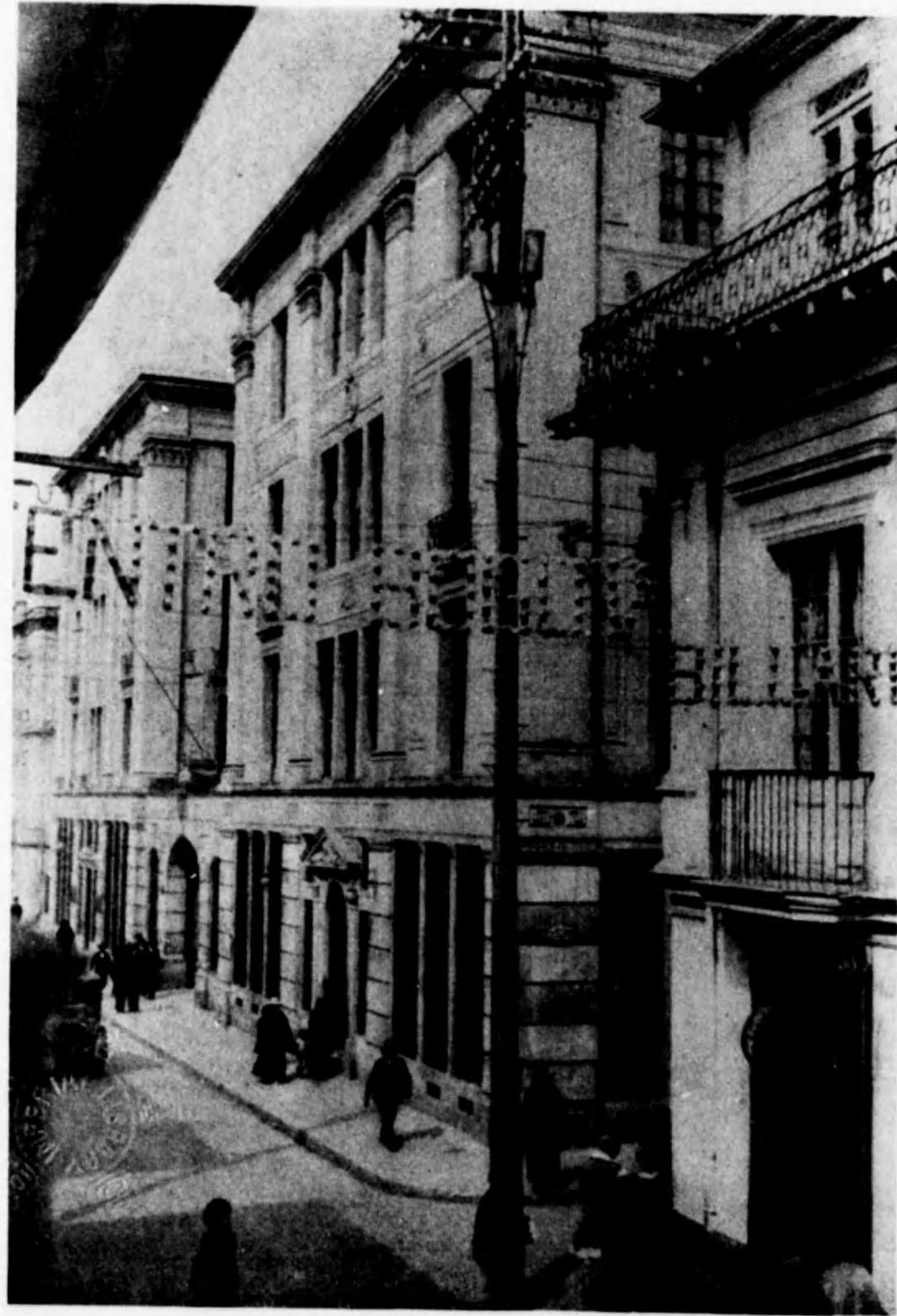
カリ市に於ける近代的ホテル



ボゴタ市レヒナホテル



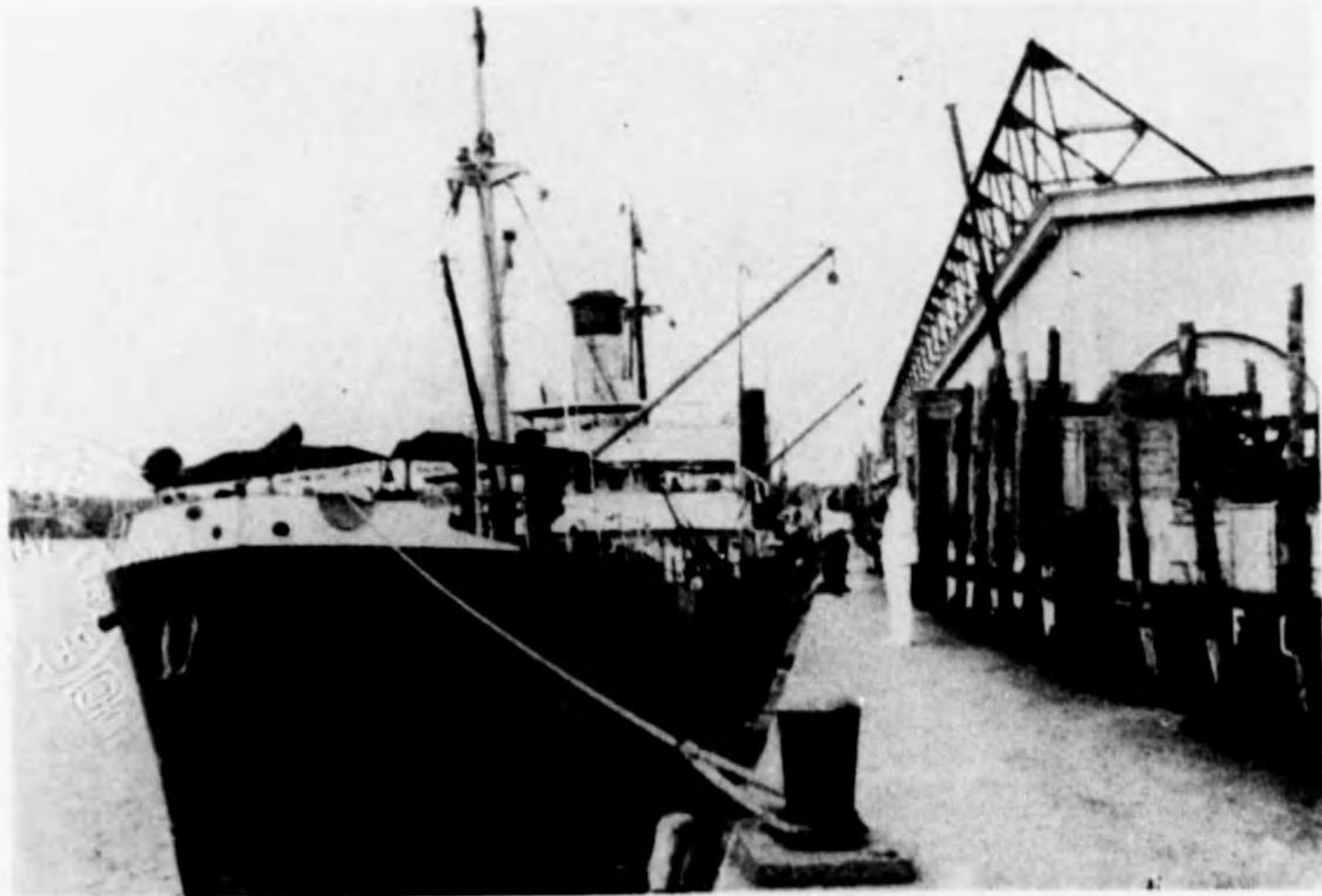
カリ市に於けるヤージ・イサク氏の記念碑  
(同氏は有名なコロンビアの小説マリアの作者である)



ボゴタ市に於ける近代的建築物  
圖の中央なるはエル・パンコ・デ・ラ・レプブリカ(共和銀行)である



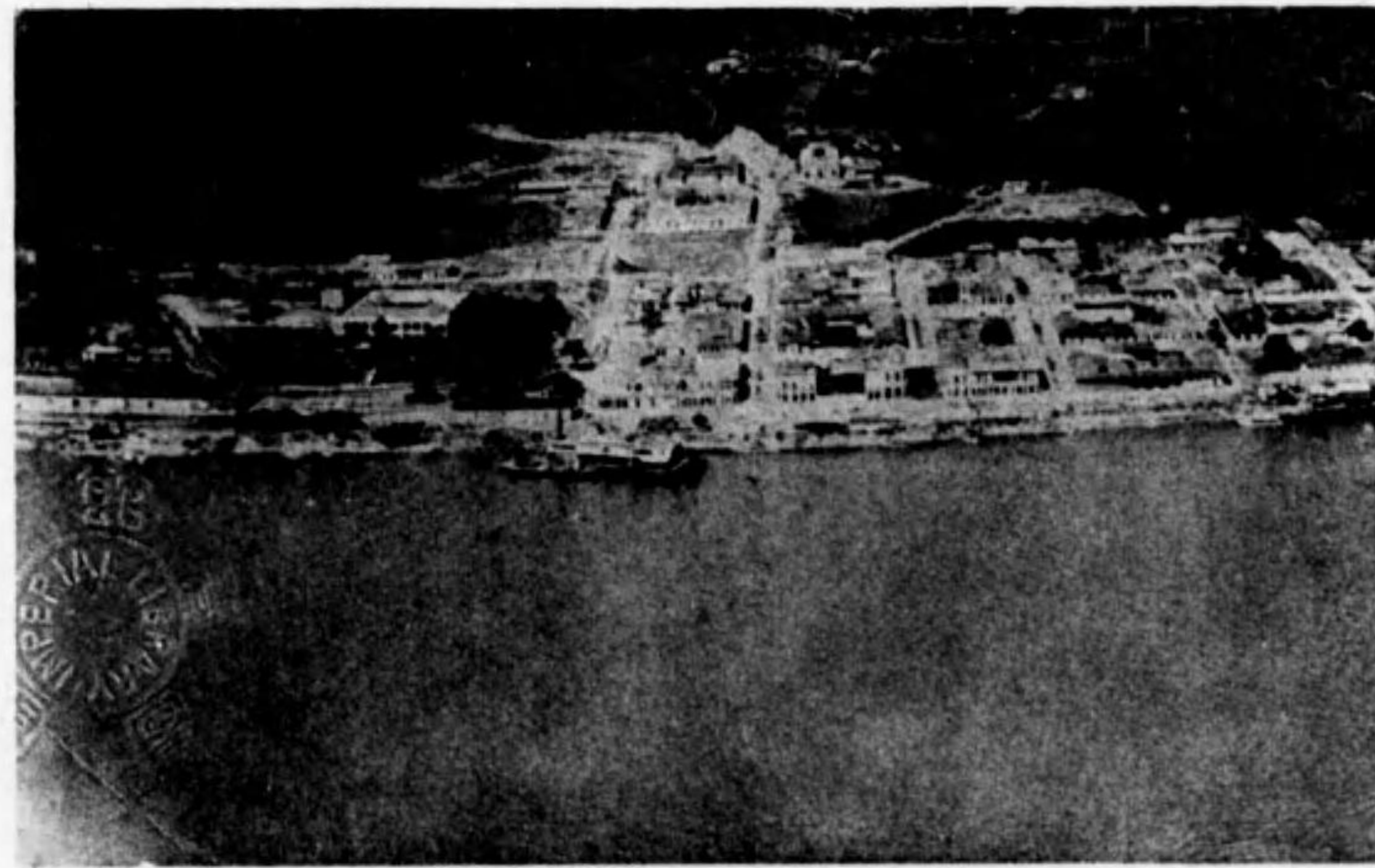
バラソカメルメハの油田



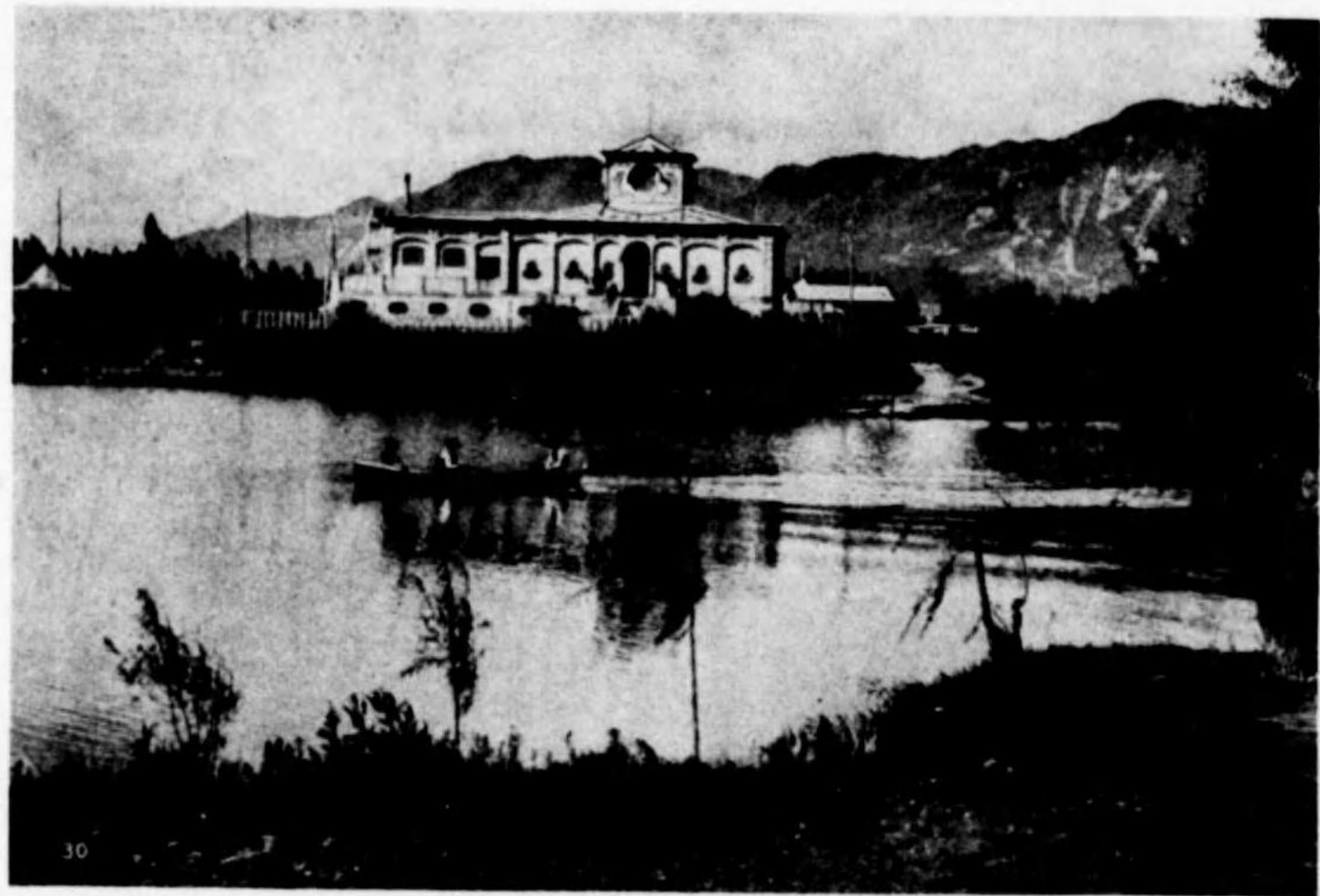
アエナヅエントウラ港の状況



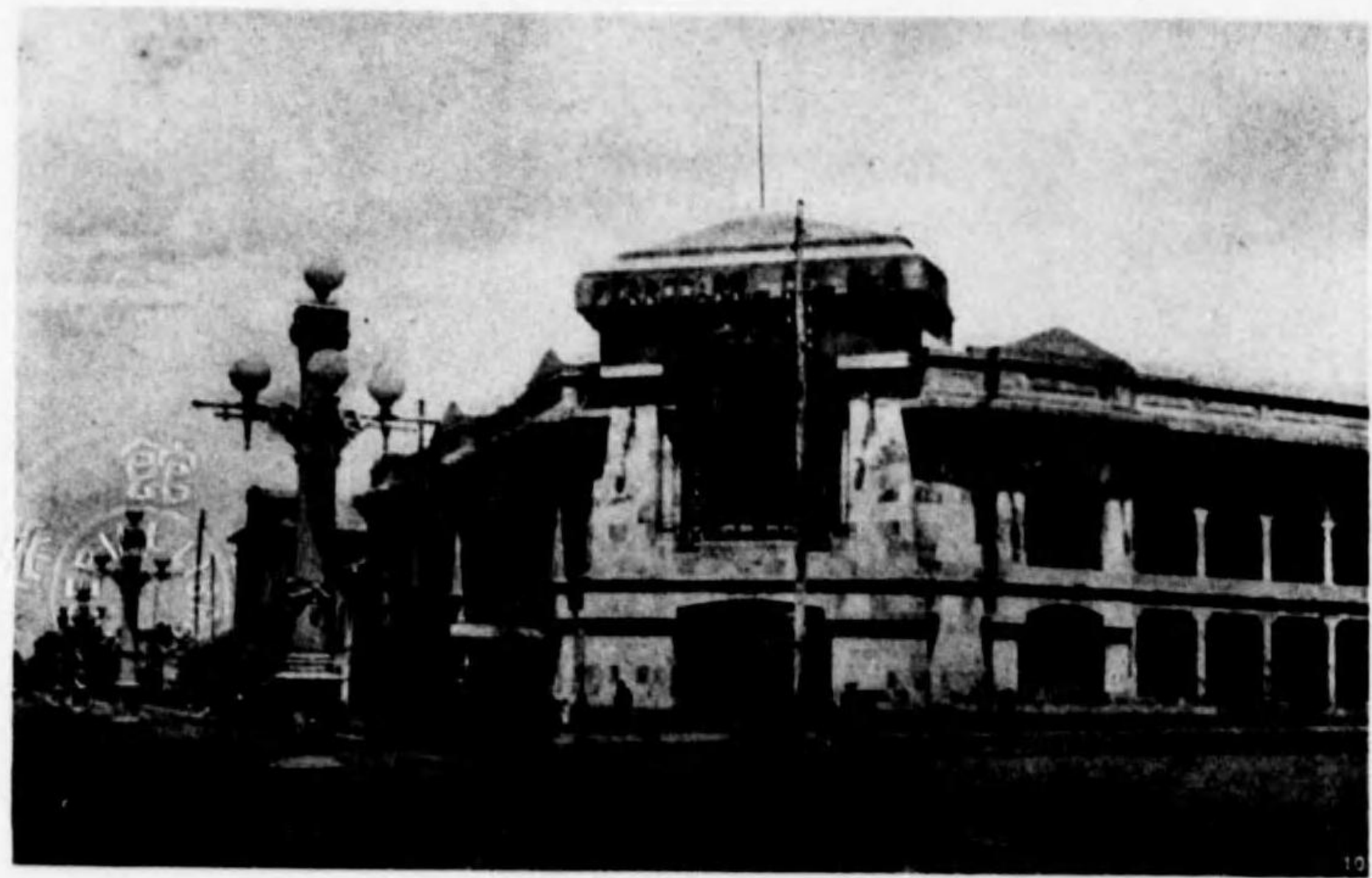
カルタヘーナ市



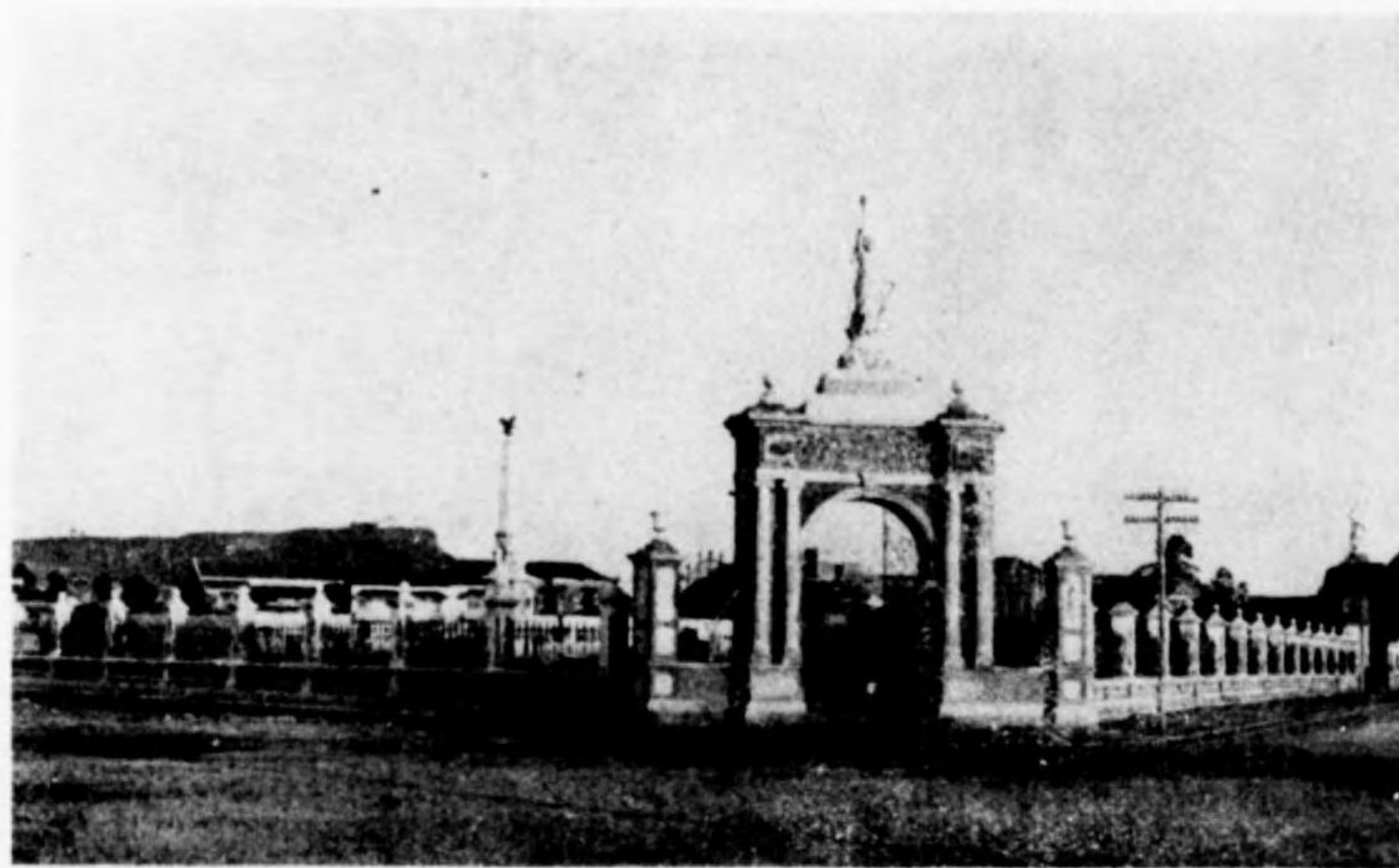
マゲダレナ河に臨むプエルト・ペリオ市



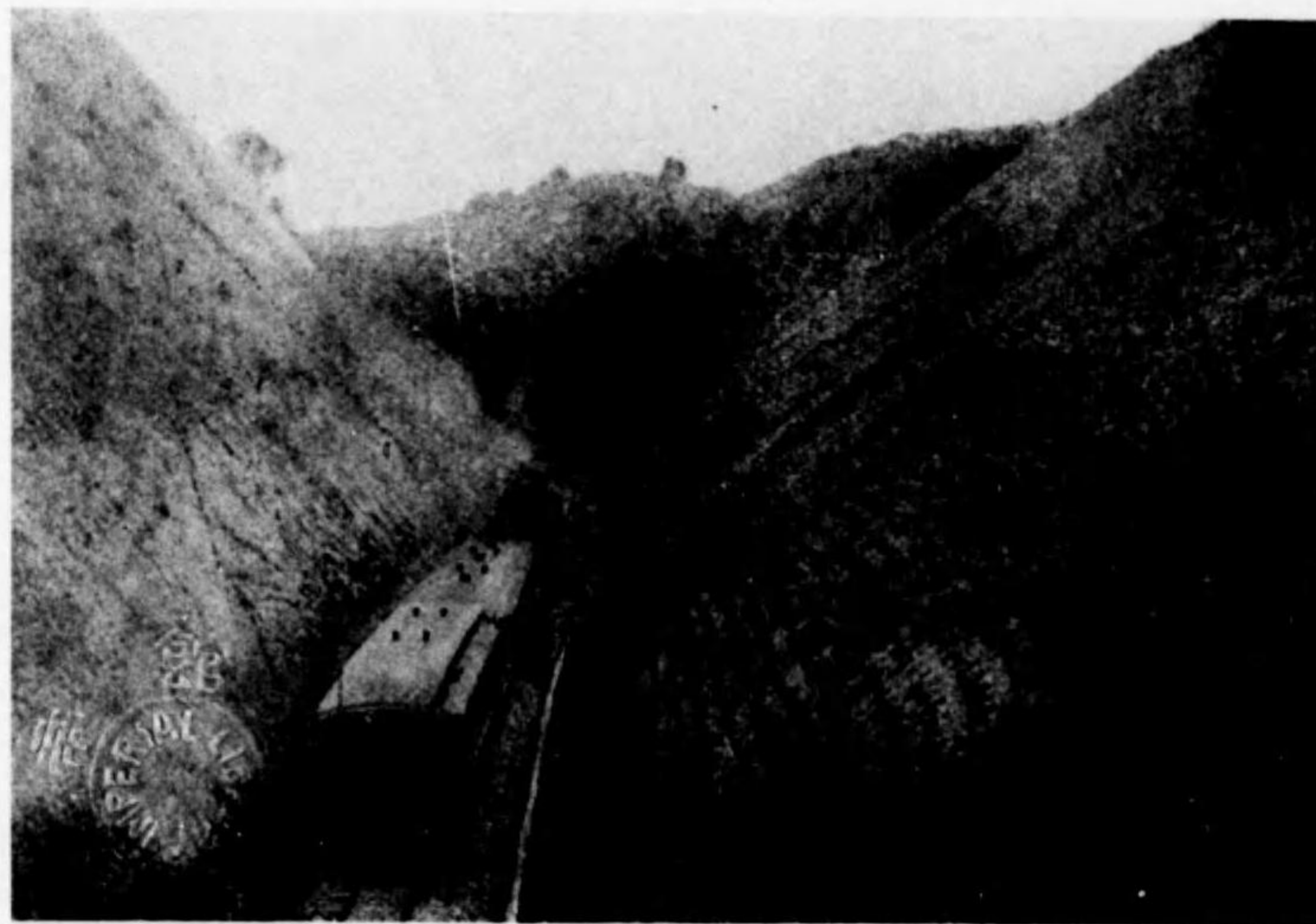
ホゴタ市ルナパーク湖



ホゴタ市南部鐵道停車場



カルタヘーナ市に於ける情景  
(公園中央部なる記念碑は同市にて特に注意すべき藝術的作品である)

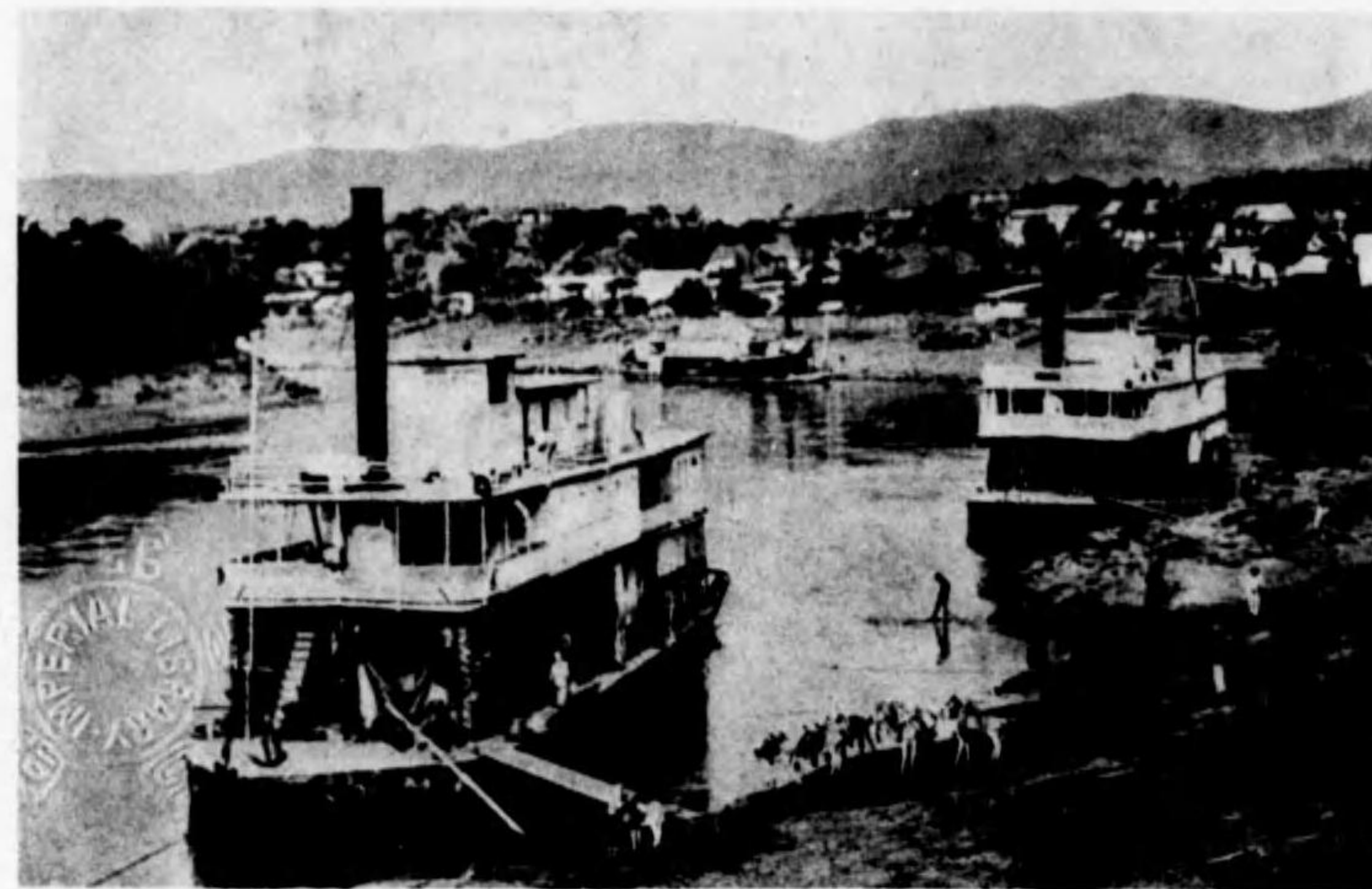


アマガ鐵道沿道線の光景





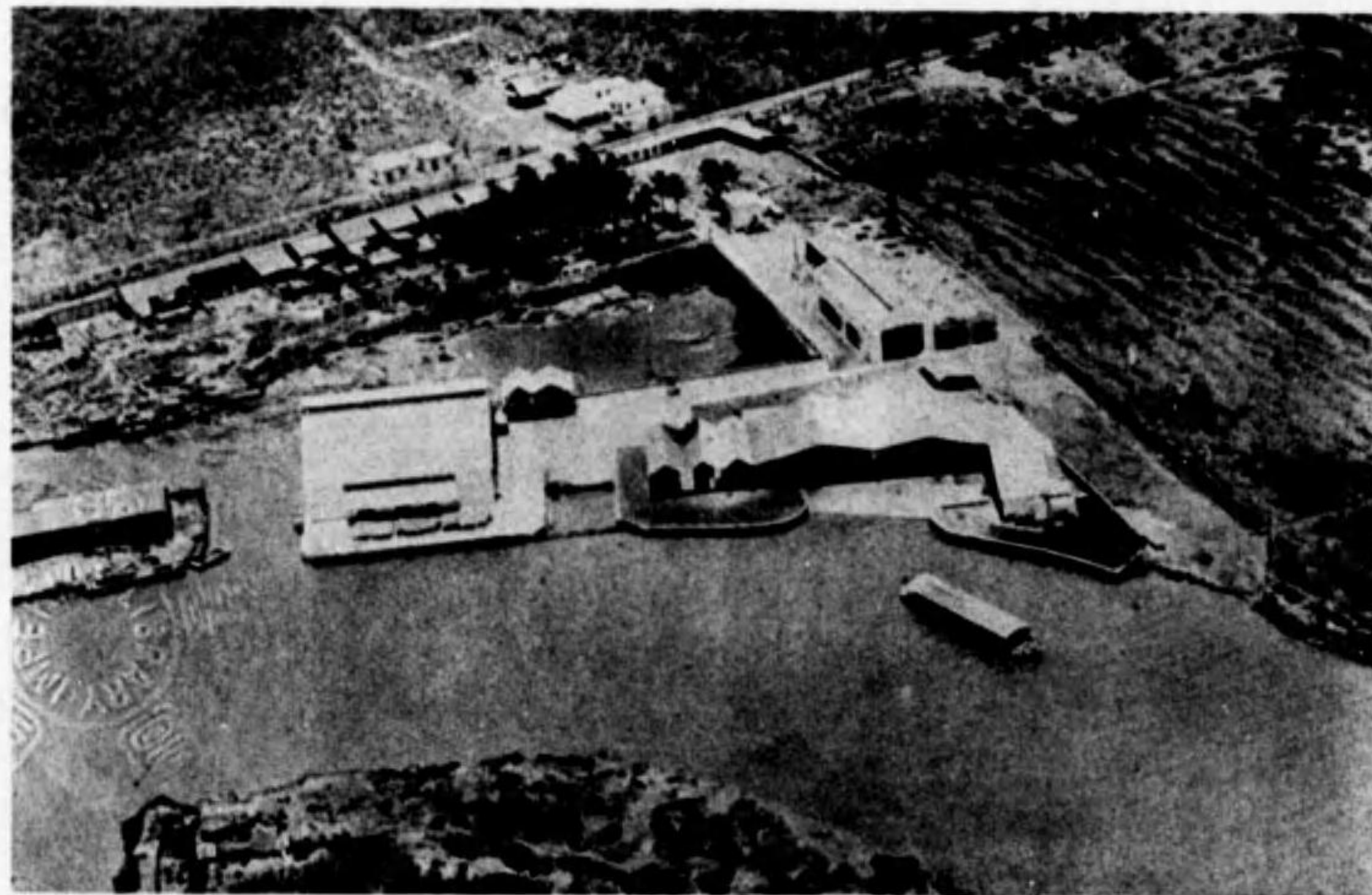
カリ市に近きカウカ河架橋



マクダレーナ河に臨むヒラルドツト市の情景



イステイマ 航空港



空輸會社の本據なるパランキヤ航空港

目次

一、地勢及氣候……………一  
二、住民の風俗及生活程度……………三  
三、歴史の概要……………七  
四、憲法及統治機關……………九  
    (附 財政狀態)……………一九  
五、物産及産業……………二四  
六、外國貿易……………三三  
七、交通一般……………三六  
八、鐵道……………三八  
九、道路……………四一  
    (一) 航空路……………四二  
    (二) 教育……………四三

三、一般衛生状態及施設……………四五

三、本邦とコロンビアとの關係……………四六

附録

八 移植民法規摘録……………五三

コ  
ロ  
ン  
ビ  
ア

一、地勢及氣候

(佐々木履擔當)



コロンビア共和國は南アメリカの北西部に位し、南米大陸中では太平洋及大西洋の兩洋に沿岸を有する唯一の國である。總面積は四十七萬六千九百十六平方哩(百二十三萬五千二百四十四平方呎)、人口は六百六十一萬七千八百三十三(一九二五年)、即ち人口密度は一平方哩に十四人の割合である。尙一九一八年に於ける國勢調査に依る人口は左の通である。

女……………	二、九四七、二五一
男……………	二、七四九、三九八
文化程度低き印甸人……………	一五八、四二八
合 計……………	五、八五五、〇七七

一九二七年に於ける推定人口では、約七、二二一、〇〇〇名となつてゐるが、正確な調査を缺くこと故確かな事は判らないが、之が人種的比例を擧ぐれば大體次の通と爲る。

種族	百分率
白人	二〇
メステイツ(白人と土人との雜種)	五〇
ムラトス(白人と黒人との雜種)	一八
印 甸 人(土人)	七
黒 人	五

二

地勢上最も著しい特徴はアンデス山脈の一帶であつて、三つの山脈(西、中央及東コルディエラ)となつてゐるが南部に於て合して居る。之等諸山脈の爲に國內に於ける諸河川の流れる方向が定められ大抵の主要水路は山脈間の溪谷を南北に流れてゐる。コロンビア屈指の大河にして商業上又重要な水路と爲つて居るマグダレナ河の如きも、東部山岳地帯と中央山脈の間を北に流れ、又中央及西部山脈間にてはカウカ河が之と同方向に流れ遂に中央コルディエラの盡くる所にてマグダレナ河に合流してゐる。西部海岸地方には數多の小急流が太平洋に注いでゐるが、その内ダグワ、サン・フアン、バチア河など著名である。

このバチア河はアンデス山脈を横断して太平洋に至る唯一の河である。又マグダレナ河及びカウカ河の支流の中で航行に適するものにセサール、ネチ、レブリハ及ソガモソの諸河川がある。アンデス山脈の東部は廣大な地域で、更にその南部地方はセルヴァス即ち大森林地帯であり、北部地

方はリヤノス即ち自然的牧場である。セルヴァスは人跡未踏の地で全然開拓せられて居ない。リヤノスは之に比すれば他地方との接觸はあるものの交通機關は矢張不充分である。

コロンビアの氣候はその地形と同じ様に變化に富んでゐる。例へば海岸地方は熱帶的であるが内部地方は温帶的である。

珈琲、カカオ、甘蔗、煙草、バナナの栽培頗る旺で大規模に輸出され、又廣大な森林には有用材及藥用植物が多い。象牙棕梠及ゴムも輸出物産に屬し、バナマ帽子も近來土人が製造技術を修得するに至り、之また輸出される。

此國の鑛物富源は未だ充分には開拓されていないが、エメラルド世界産出額の大部分はコロンビア國より供給されて居る。石油は現に急速なる發展を示し輸出品としても相當重要性を加へつつある。金は到る地方に産し、其の他銀、白金、水銀、鐵、鉛も又産出される。エメラルド、岩鹽及眞珠採取は政府の獨占事業となつてゐる。

## 一、住民の風俗及生活程度

コロンビアは世界交通上の要路とも云ふべきバナマ運河を控へ、且太平、太西兩洋に面してゐ

るのであるが、地勢が險峻で人口稀薄であり従つて國內交通機關の發達が遅れた爲、ブラジル、アルゼンチン等に比較すれば文化程度も遙かに遅れた傾がある、又國內各地方は地理的に隔てられてゐるので一般國民の見聞及知識も自然と局限され勝ちで、國外問題は勿論國內の事についても通じない事があり、従つて未だに特異な風俗、習慣が残つてゐるから旅行者をして宛も武陵桃源にあるの思ひを起さしめることがある。

その國民性は朴訥であり、且羅甸系人種に特有な感受性を有し藝術を愛好すること甚深い。例へば職を求めて山中を寂しく流浪の旅を續ける勞働者が身につけるものは一片の風呂敷と一桿のギターで路傍に座して食を攝り、一曲彈で終つてまた旅を續けると云つた様な情景は旅行者が屢々目撃する所である。

其の首府ボゴタ市は羅甸亞米利加のアテネと呼ばれ文學の中心地である故に、知識階級の藝術愛好心は更に一層に深いものがある。

ローマン・カトリック教は壓倒的な勢力を有し、國內如何なる都市村落にても最も宏莊なのは寺院であり、尊敬さるるものは僧侶である。僧侶は社會上政治上牢乎たる基礎を確立してゐる。服装は一般に地味である。大都市の婦人でも相當流行遅れの品物を身につけてゐる。一般婦人が

絹物を愛好する事は甚だしく、日本よりの輸入中第一位を占むるものは絹布である、併し絹に関する知識が乏しい故に、地方婦人の如きは光澤のある人造絹絲の方をより欣ぶと云つた有様である。都鄙を問はず裸足にて歩行するもの多く、寒冷の地ではアルバルガータと云ふ草鞋を穿つ。併し隣家に行く際にも、夜間街路を行く時も、帽子を着けてゐるのは奇觀である。

土人の風俗を見るに、男子はボンチョ又はルマーナと云ふ簡単なマント様のものを平常折疊んで肩に掛けて所持し、寒いとき或は降雨に際して之を用ひる。婦人は老若を問はず、バナマ帽子を冠り、黒肩掛をつけ、又好んで小豆色のスカートを穿いてゐる。

家庭外の娛樂機關は總體に乏しく、他の南米諸國に見るキャバレー公許賭博場の如きは絶無である。但年數回の音樂會、劇及活動寫眞等の興行物があるに過ぎない。家庭内の娛樂については舞踏會を催し骨牌その他の遊戯に打興するなど其生活には相當の興味ある様である。電燈の設備は大都市に限られ、地方にては比較的富裕なる者は洋燈多くは蠟燭を用ひる。燈用石油は極めて高價である。飲料水は大都市にては水道の設備があり、農村にては多く河水を生水の儘飲用してゐる。又住民中には溫浴乃至水浴の味を知らずして一生を送る者が多いといふことである。

勞働者の日常食料は其地固有の農産物を用ふるが故に其の内容は地方々々により異なる。例へば

比較的暑い地方、カウカ流域などではブラータノを常食とし、ボゴタ附近の如き寒冷な地方では馬鈴薯、温帯地帯なるメデリン市地方では玉蜀黍及馬鈴薯を主食とする。カウカ流域地方に於ける労働者の日常食料を調べて見ると。

朝食 珈琲、ブラータノ（芭蕉の一種）の焼いたもの二三本、或は之に粗製赤砂糖を添へる。

晝食 サン・コーチヨと云ふ一種の雑炊を喰へる。之は骨附の肉類及青ブラータノを釜中に煮出して之に葱又は米を添へたものである。

晩食 多くサン・コーチヨを食し、之に一杯の牛乳或は牛肉、馬鈴薯も添へることがある。

一般に牛乳は豊富で食事の際水代りに飲む程である。ブラータノは外觀はバナナに似てゐるが生食に適しない。暑い地帯孰れの地方にも成長する故土人のみならず一般的消費物となつてゐる。尙注意すべきことは比較的高價なる爲、中・上流社會に限られてはゐるがコロンビア人が米食することである。カウカ米は日本人の嗜好にも適する様である。

同國民の生活食料品中最も重要な品を採り各地方首都平均の卸賣相場表を掲ぐれば左の通（單位弗）

品名	一九二五年六月	一九二五年九月	一九二五年三月	一九二六年三月
米	二・六〇	二・五七	二・八一	三・二〇
豚肉	五・一〇	六・〇五	五・八五	六・四三
牛肉	四・二二	四・一七	四・三一	四・八九
大豆	三・一一	三・一一	三・二六	三・七五
小麦粉	三・一〇	三・二二	三・一八	三・三七
小麦	一・一七	一・二二	一・三七	一・七四
玉蜀黍	七・九七	八・二五	九・五二	一〇・二二
豚脂	二・〇五	一・九〇	一・五〇	一・六二
馬鈴薯	一・八八	一・六六	一・八〇	二・三九
鶏卵	〇・三五	〇・三八	〇・四一	〇・四三
牛乳	〇・一一	〇・二二	〇・二二	〇・一五
ブラータノ	〇・一一	〇・二二	〇・二三	〇・一五
鹽	一・八五	一・七〇	一・七〇	一・六二

### 三、歴史の概要

かのコロンブスがグラシアス・ア・ディオス岬を発見したのは、千五百二年九月十四日のことであ

る。併し彼はコロンビア沿岸を相當長距離に互り航海してゐるにも拘らず、この地に植民しやうとしなかつたのである。更に千五百九年に至りアロンソ・デ・オヘダはダリエント河の東部地方を征服し、且之にウラバ地方なる名稱を興へるに至つた。斯くてオヘダは海岸地方に強固な勢力を占むるに成功し、又絶えずアメリカ土人と交戦し且當時高原地方にあつたチブチャ王国を略取しやうとしたが、その企圖は遂に失敗に終つた。千五百六年ヒメネス・デ・ケサーダはチブチャ王国征服に着手し、同時に他の二遠征隊即ちフレデルマン隊及ピサロの幕下なるベナルカサル隊も同目的を以て夫々の地點より出發した。此等三箇の遠征隊は高原地方にて邂逅したが、ケサーダの外交的手腕によつて僅かに争闘か避け得られたのであつた。此の果てケサーダは、當時祕露のインカ族と同じ程度の文明を有せし此地土人と友誼的關係を維持するに至つた。彼は首府即ち現在のボゴタ市を舊チブチャ王国の近傍に建設し且つ縦横に國土を開拓した。

斯くて西班牙は此の地に總督を任命し名も新グラナダ州と改め、千七百十八年には之を太守管區と爲した。第一代の太守としてアントニオ・デ・ラ・ベトロサ・イ・ゲレロが任命されて以來、千八百十年に至る迄十二代の太守が統治したが、最後のドン・アントニオ・デ・アマール・イ・ボルボンに至りボゴタ市民の爲に遂に廢立された。これより先、革命運動が國內諸處に勃發してゐたのであ

るが、西班牙との戦争はその年(千八百十年)七月に遂に具體化するに至り、八月七日には愛國の士はその首領シモン・ボリヴァール及サンタンデルの巧妙なる指揮の下に王黨軍をボヤカに於て大敗せしめた。

ボリヴァールはヴェネスエラと前の新・グラナダ太守管區との間に聯合國家を建設し、千八百九年十二月十七日に新共和國は正式にコロンビア共和國なる國號を採用した。千八百二十一年七月十二日には國會がククタに開會され、シモン・ボリヴァールを大コロンビア國の第一次大統領に選舉した。一八二二年にはキト管區即ち現在のエクワドル共和國がこの合衆國に参加したが千八百三十年十二月七日ボリヴァールが死すると共に合衆國は分裂し、新・グラナダは千九百三十一年十一月十七日に新グラナダ共和國なる國號を採用した。此の國名は後、グラナダ聯邦と改められ次にコロンビア合衆國に變り最後にコロンビア共和國となつた。國名の變更は同共和國發展の諸相を示すものである。コロンビアは遂に單一共和政體を採り、爾來今日に至る迄その制度を維持してゐるのである。

#### 四、憲法及統治機關(附、財政狀態)

千八百八十六年八月四日制定の現行憲法により、コロンビア共和國は其聯邦制を改め、各州の



主權を廢して、單一なる共和政體と爲り、之を立法、行政、司法の三機關に分けた。

立法權は國會に在て上院及下院より成る。上院議員は人口十二萬人又はその端數五萬を越ゆる毎に各々一人を選び、且つ議員一名に對し二人の代理が選出される。

之は即ち議員に故障あり職務遂行の出來ざるに代理せしめん爲である。上院議員は間接選舉で任期は四ケ年、且無限に重任が出来る。被選舉資格は三十歳以上の生來のコロンビア人で、年收千二百弗以上の者たることを要するのである。下院議員は人口各五萬人に一人の割合を以て選ばれるが上院議員に於けると同様、一議員に對し二人の代理が選舉される。下院議員の被選舉資格は二十五歳以上の市民にして其權制行使上缺くる所無き者たることである。下院議員は直接選舉により其の任期は二年で且無限に再選され得る。國會は毎年七月二十日共和國の首府に於て開會し、會期は九十日であるが各院の投票數の三分の二以上の多數を得れば更に三十日を延長することが出来る。尙大統領も亦特別議會を召集することを得。此の場合會期は政府の決定する所に依る。兩議院が合同會を開くは唯次の場合に限る。即ち大統領の就任の場合、及大統領空位の際其の職を行ふべき代理二名を選舉する場合である。

全てコロンビア人たる二十歳以上の男子にして、一定の職業に従事し或は一定の合法的職業を有

するものは市民として選舉權を有する。

行政權は大統領が之を執行する。大統領は直接選舉に依り選舉され其任期は四年である。併し引續き再選することは許されない。大統領は又八人の行政各部の長官より成る内閣によつて輔弼せられる。即ち、

- (イ) 内務省
- (ロ) 外務省
- (ハ) 大藏省
- (ニ) 軍務省
- (ホ) 産業省
- (ヘ) 教育、保健省
- (ト) 遞信省
- (チ) 土木省
- (リ) 會計局
- (ヌ) 給糧局

内務省は國內各州及各直轄領の行政並裁判所及刑務所の行政を掌る。此省は又新聞雜誌の檢閲

取縮をなす。

外務省は外交團及領事團に關する事務の指揮監督、對外關係の維持、國境問題の解決、旅券事務及逃亡犯罪人引渡等の事務を處理する。

大藏省は豫算の作成、公金の收支並に公債、國立銀行、税關、稅務所に關する事務、鹽鑛及富籤の監督等に當る、國庫は又本省の指揮の下にある。

軍務省は軍隊に關する一切の事項並豫備軍たる市民の軍事教育及訓練に關する事務を掌る。陸海軍大學はその監督下にある。

産業省は農業、工業を始めとし礦山、森林、官有地事業等の獎勵及取締に當る。同省は又移植民事業を掌る。その他貯蓄銀行の検査及監督、特許、商標、度量衡、經濟通商事情の調査、運輸、保險、生産及消費統計、輸出入、勞働立法、不動産登記等の事務を掌る。

教育保健省は公立小學校、中學校、專門學校、國立大學、國立美術學校、音樂學校、國立博物館、國立圖書館、天文臺等の監督、取締をなし、また國民の健康増進の爲衛生保健の諸設備を指揮す。遞信省は國の電信及郵便事務を掌り且凡そ無線電信、海底電信を監督す。

土木省は鐵道の經營、航海の取締及道路、橋梁、公共建築物その他土木事業の建設維持をなす。

會計局は國の會計及決算事務に關し特定の權力と監督權とを有する。また同局の會計検査課は政府の財政に對して、一般的會計検査權を附與されてゐる。

給糧局は政府の物品及糧秣に關する事務を掌り、又官有印刷所をも監督する。

コロンビア國の陸軍は平時に於て約六千名より成るが、大統領は公の必要ある場合この數を増加する權限を有す。陸軍は三ヶ師團に分かれ軍事上の目的よりして區劃せられた各軍事區劃に一ヶ師團を置く。各一ヶ師團は歩兵二旅團（各旅團は二ヶ聯隊）、騎兵一聯隊、砲兵一聯隊、鐵道一大隊と附屬工兵一大隊より成る。兵役は強制徵兵で總兵力數は十二萬と見積らる。ボゴタには陸軍士官學校があり飛行學校も亦最近設立された。コロンビアは現在、海軍を有さぬが其の創設及海軍兵學校の設立案は確定して居る。

コロンビアは萬國郵便聯合に加盟し、又千九百二十年十一月マドリッドにて調印せるラテン・アメリカ諸共和國、西班牙及北米合衆國間との協約を批准してゐるが、之により締約國間の郵便物は各共和國國內郵便と同一郵税で遞送せらる。コ國の郵税は、封筒三セント、葉書二セントである。國內には郵便局約一千あり、雇傭人員千五百人以上、取扱郵便物は一ヶ年數百萬に達する。多數郵便局はまた郵便爲替業務を行ふ。交通機關の不足に伴ふ郵便物配達上の困難の爲、國內諸

重要都市間に航空郵便が設けられるに到つた。

内國電信の總延長は凡そ二萬五千キロメートル(一萬五千五百二十五哩)に及び全國通せざる所がない。電信局は約八百で使用人員二千五百を超えてゐる。近年一ケ年の取扱電信數百萬に達するに至つた。太平洋岸のプエナヴェンツラ及大西洋岸のカルタヘーナの兩海底電信臺を通じ、國外と容易且つ迅速に通信をなすことが出来る。兩者は共に個人會社の經營に係り、會社は更にバランキヤ、トゥマコにも電信臺を設置せんとしつつある。その他ボゴタ、メデリン、クークタ、カリ、プエルト・コロンビア、サンタ・マルタ、バランキヤ、サン・アドレスの諸市に無線電信局があり、且つ首府ボゴタ市にはマルコニ會社の建設經營する國際無線電信局がある。電話は主要都市及其隣接地に設けられ次第に發展しつつある。

コロンビア國の貨幣單位は金ペソであるが、金一ペソの百分の一を更に一仙(セントアグオス)とする。一ペソは大約〇、九七三米弗に當る。重量一、五九七六グラム、純分〇、九一六七である。金ペソの上は磅(四、八六六米弗)で五ペソに當る。補助貨は銀とニッケルで、銀は純分〇、九〇〇で五仙、二十仙、十仙があり、ニッケルには一仙、二仙及五仙の三種がある。

普通通貨として流通するのは上述の金ペソを代表する兌換紙幣である。紙幣には一弗、二弗、五弗、十弗、二十弗、五十弗及百弗の七種がある。

近年國內に於て行はれた改革の中著名なるものとしては税關規則、刑罰制度、軍事組織、教育、道路及電信事業等の改革を擧ぐる事が出来る、この目的の爲にヨーロッパ及北米合衆國から多數の専門家が招聘され、コロンビア國內の狀況を委細に研究し報告を提出せしめたが、その意見は多く採用されて頗る好結果を示した。

コロンビア共和國は行政區劃上、全國を十四州、三直轄地及七特別警察管區に分ち、各州は更に地方區に分たれてある。各州の行政長官は大統領の任命する州知事で、各直轄地及特別管區には特別の委員を設置して居る。州内各縣及其他地方の行政官は大統領の任命する所であるが地方區廳は人民の直接選舉による。各州には州議會が設けてある。人民の一般投票にかかる議員を以て組織する。議員は人口一萬二千及その端數六千を超過する毎に一人の割合で選出される。地方區劃及各首府は左の通である。

州名	首府名	人口數
アンチオキア	メデリン	一二〇、三四五
アトラチコ	バランキヤ	一三九、四九一

ボリヴァール	カルタヘナ	八六、四六七
ボヤカ	ツンハ	一五、九二七
カルダス	マニサレス	八五、二〇三
カウカ	ボバヤン	三〇、六二五
クンデイナマルカ	ボゴタ	二三五、四二一
ウイラ	ネイヴァ	二五、〇五七
マグダレナ	サンタ・マルタ	二二、〇六七
ナリニオ	バスト	四〇、三〇四
ノルテ・デ・サントアンデル	ククタ	五〇、三二四
サントアンデル	プカラマンガ	四四、四二七
トリマ	イバゲ	五三、六六四
ヴァイエ	カリ	一二四、八五七
直轄地		
チヨコ	キブド	二三、五〇四
メタ	グイヤグイセンレオ	最近統計なし

サン・アンドレス・イ・プロ  
グインシア ..... サンアンドレス ..... "

特別警察管區

アラウカ	アラウカ	最近統計なし
カクタ	フロレンシア	"
ゴアヒラ	サン・アントニオ	"
ブツマヨ	スクレ	"
ヴァウペス	カラマール	"
グイチャダ	サン・ラファエル	"

コロンビア共和国の首府なるボゴタ市は人口十八萬七千人の都會であるが、一五三八年ゴンサロ・ヒメネス・デ・ケサーダが舊チブチャ帝國の首府たりしボゴタの附近に建設したものである。市は東部高原地帯に位し、市の面積は七十哩に三十哩、海拔八千五百六十四呎(二千六百十米突)の高地にあつて數多の山脈に圍まれてゐる。平均温度は華氏六十度位、頗る健康地であるが鐵道地圖によりても窺知せられる如く海岸地方からの交通の便を缺くを以て外人の訪るるもの少きは遺憾なりと云ふべきである。ブラサ・ボリヴァールと云ふのは市の中樞をなす廣小路の名前で、其

中央廣場には「自由建設者」ボリヅアールの銅像がある。廣場の南に國會議事堂がある。堂々たる花崗岩の建築物である。同じく東側には大教會堂及西班牙太守時代の宮殿が残つてゐるが、今は商店及事務所として使用せられてゐる。その他の主要なる建築物としては大統領官舎、コロンプス劇場、國立圖書館、銀行及高等諸專門學校を擧げる事が出来やう。

メデリンはアンチオキヤ州の首府、人口八萬六千を算し、市の大きさよりいへばコロンプア國第二の大都市で之亦國內商業の中心地である。マグダレナ河港なるブエルト・ベリオよりは鐵道により達する事が出来る。この鐵道はキエブラ山脈を間に挟んで二線に分かれ、一は河港よりシスネロスへ、一はメデリンよりサンチャゴに至る。されど聽ては此の山脈を隧道を以て貫くことにより、兩線の主要部が連結さるる日が到來するであらう。現在ではシスネロス、サンチャゴ間の連絡は自動車により爲されてゐる。バランキヤ市はマグダレナ河航路の起點にして國內向貨物の主なる積換港である。遠洋航路船は河口に沙州ある爲投錨し得ないが、海岸との連絡は十八哩彼方のブエルト・コロンプア迄鐵道により行れてゐる。最近大船をも寄港出来る様に河底を浚渫し波堤を建設する案が作られた。因にバランキヤ市の人口は八萬一千三百三十を算す。

カリ市はコロンプア第一の沃地たるカウカ河流域に位してゐる。同市はエル・ヴァレ州の首府にして人口は十二萬千八百五十七人である。太平洋岸なるブエナヴエンツィラ港迄は鐵道の便がある。同鐵道は南方はボバヤン迄、北方はカルタゴ迄達す。カリ市は國內有數の進歩的都市と見做され、此の地方貨物の集散地である。其他カリベアン海沿岸の都市として重要なものを擧ぐれば次の通である。即ちブエルト・コロンプア市はバランキヤ州の海港であり、カルタヘーナ市は人口八萬六千四百六十七人、マグダレナ市へは鐵道により連絡されてゐる。又サンタ・マルタ市は果實の大集散地である。

太平洋岸に於て主要なるものにトゥマコ市及ベナヴエンツィラ市（人口五千人）がある、後者よりは鐵道によりカリ市（人口十二萬四千八百五十七人）に達する事を得る。

其の他の都市としてマニサレス市（カルダス州の首府、人口八萬五千二百三人）、イバゲー市（トリア州首府、人口五萬三千六百六十四人）、バスト市（ナリーニョ州首府、人口四萬三百四人）及ボバヤン（カウカ州首府、人口三萬六百二十五人）等がある。クタタ市（人口五萬三百二十四人）は國の北部に位し、ヴェネスエラ國境に近き都市である。

## 附 財政狀態

歳出入—過去數箇年の經常歳入を示せば次の如くである

一九二二	二一、八七六、五五八	同二六	五五、六八四、九一四
同二三	三三、五三五、一〇四	同二七	六三、二六七、四八九
同二四	三三、四七〇、三八八	同二八	七四、三二七、〇〇〇
同二五	四六、二三九、六三六		

以上の表にて注意すべきは千九百二十五年年度にては二十二年度の倍額以上に達してゐることである

一九二七年度の主なる財源の割合を擧ぐれば。

	百分率		百分率
關稅收入	五九、二九	鐵道收入	一五、二五
領事手数料收入	四、九	所得稅收入	二、一七
岩鹽收入	四、四五	郵便收入	一、〇〇
電信收入	四、〇二		

次に千九百二十六年及二十七年兩年度の歳出入と千九百二十八年年度の豫算とを示す

一九二六年	經常歳入	五五、六四八、九一四	經常歳出及第一豫備金	四二、五四八、〇八四
	巴拿馬分裂に對する北米合衆國最後の賠償金	五、〇〇〇、〇〇〇		

一九二五年度の剩餘金	五、二六一、一二二	臨時歳出及第二豫備金	二六、一〇〇、六〇〇
	六五、九一〇、〇三六		
	二、七三八、六四九		
	六八、六四八、六八五		

一九二七年

經常歳入	六三、二六七、四八九	經常歳出及第一豫備金	五五、六〇七、七六四
二千五百萬國債の一部	一五、七二四、九八二	臨時歳出及第二豫備金	三〇、四〇五、〇六三
	七八、九九二、四七一		
不足額	七、〇二〇、三五六		
	八六、〇一二、八二七		

一九二八年度豫算

經常歳出	九、四四七、五五五
内務省	九七八、五一一
外務省	七、一四四、五七八
大藏省	七、二八八、五九五
軍務省	一、七七四、五五四
產業省	

教育保健省	五、九八一、八五三
逓信省	六、二四五、四二七
土木省	一一、七〇三、三七四
會計局	五七三、四一四
給糧局	一九六、六二七
臨時歳出	五二、三三四、一八九
大藏省	二、八三五、九九六
土木省	三〇、六五〇、〇〇〇
國家教育	四〇〇、〇〇〇
	三三、八八五、九九六

公債—千九百二十七年十二月三十一日に於ける内國債の總額は八、五一三、八一—ペンであつた。  
次に千九百二十八年十二月三十一日に於て未拂の外國債項目を舉げて見やう

國債	米 弗
英貨	一一、三〇八、一五〇
米 弗	五九、八一七、〇五三
州債	二九、三一—、七〇〇
アンチオキア	

カルダス	九、六〇九、四〇〇
クンティナマルカ	一一、〇〇〇、〇〇〇
サンタンドール	一、九九八、〇〇〇
トリマ	二、二四一、〇八八
ヴァレ、デル、カウカ	八、三三六、三八〇
市債	
ボゴタ	八、〇四六、〇二五
パランキリーヤ	一、六七三、八〇〇
カリ	二、五四九、〇〇〇
メデリン	一、七三九、二五〇
銀行	
農業抵當銀行	一五、二七二、〇〇〇
コロンビア銀行	二、九六五、五〇〇
ボゴタ抵當銀行	五、八〇三、〇〇〇
「」	
「コロンビア」抵當銀行	(英貨一、六七、九六〇、〇〇〇、〇〇、〇〇〇)
	一一、四八八、五〇〇
短期公債—政府發行	二〇二、四五八、八四六
	六、〇〇〇、〇〇〇
	二〇八、四五八、八四六

### 五、物産及産業

コロンビアの農業は其地形及氣候の各地方により異なるに従ひ夫々相違の相違を見せてゐる。例へば太平洋沿岸は降雨多き爲、農産物は主として護謨とタグアに限られてゐる。但しバナナ及穀物も小規模には生産せられる。之に反し、大西洋沿岸地方は雨量が左迄多くない爲、物産の種類極めて多く、穀物、甘蔗、棉花、護謨、ココア、バナナ、熱帶的果物類及野菜等の産がある。ア  
ンデス山脈の内部盆地地方に於ても、此等産物の總ての種類を産出する。又馬鈴薯その他の野菜も出るが、更に高原地方に行くと小麦、大麦、其の他穀物が産出せられる。

マグダレナ河流域地方に到るとバナナ、カカオ及護謨の栽培に適する廣大な區域があり、又アトラ  
ート及レオン兩河地方も此等物産の好適地となされてゐる。サンタ・マリア地方はバナナを多く出  
す事と人口の稠密なることにより、過去數年來著く其の重要性を増した。シヌ河流域もバナナ産地と  
して知られ、その他オレンデ、バインアツブル、アリゲーター梨その他熱帶果物の栽培にも適す。  
該地方は又杉材、マホガニー材に富む。珈琲は輸出貿易の見地よりすればコロンビアの主要産  
物で、輸出總額の三分の二を占めて居る。主なる産地としてクンデイナマルカ及アンチオキアの兩

州があり、更にサンタンデル州のオカーニヤ、ククタ、ブカラマンガ地方トリマ州及高原地帯  
内の谷野等がある。

現在世界に於ける珈琲生産額順位を示せば次の通りである。

平均産額	(單位百萬封度)
ブラジル	一、四六九
コロンビア	二〇一
ベネズエラ	一一〇
東印度諸島	一〇三

コロンビア産のものは所謂マイルド珈琲(苦味少きもの)で品質は極めて上等であり米國を最大の顧客とする。

最近の輸出額を示せば左の通りである

年	(單位千盾)	(單位千ペソ)
一九二一年	一四〇、七〇七	四一、九四五
一九二三年	一二三、六九七	四三、三八七
一九二五年	一一六、八〇四	六六、五二四
一九二六年	一四七、二五七	八五、八八四
一九二七年	一五一、七二九	九〇、四三四
		二五



コロンビアの輸出農産物中珈琲に次ぐものはバナナで消費國としては英國が第一、米國及オランダ等之に次ぐ。

年	單位百磅	百萬ペソ
一九二五年	二二一	五、五
一九二六年	二三八	五、三
一九二七年	—	五、四七

砂糖は統計上から見て前兩者には及ばぬが、之また重要な農産物である。甘蔗は海拔六千呎乃至七千呎迄の土地なれば國內如何なる所にも栽培出来る。過去數箇年間に於ける砂糖の輸出高は少かつたが精糖法の改良如何によつては外國貿易上重要な位置を占めるに到るであらう。

牧畜業は從來主要産業の一とされてゐる。蓋し國土の大部分は牧畜に適するのであつて二三の家畜の飼育より大牧場の經營に至る迄國內各所に見受けられる。但し多くは在來種で改良種のものは比較的尠い。尙現在の所牧畜は海岸地方、内部、盆地及高原地方に限られてゐるが、其の他地方殊に東部のリヤノスは斯業に適してゐる。一般に需要のあるのは食用牛で乳牛は餘り發達するに至らず其の他バター、チーズも品質が思はしくない。一九二七年度に於ける輸出價格は三二、一三七「ペソ」である。

皮革の輸出は一九二七年度の輸出價格の第四位を占めてゐる。次表は最近輸出の趨勢を示すものである。

年	封 度	米 貨 弗
一九二四年	七、〇〇二、二六六	三、〇一五、七六五
一九二六年	六、三四五、八〇九	二、七八九、一一七
一九二七年	—	三、四七六、〇一九

コロンビア國は亦木材資源に富む。この産業が發展するに至らば同國の富源を著しく増加する事が出来やう。森林にはマホガニー、香木、藥用植物、樹脂、密臘、染料木その他諸種の護謨樹等がある。象牙、椰子の實(タグア)は高級ボタンの製造材料であつてこの果實の採集は重要な産業である。その輸出額は千九百二十七年に於て二五〇、四四六米弗の多額に上つた。

コロンビアに於ける農業及森林資源の開發には交通機關の發達が絶對的條件とされてゐる。現在に於ては農産物市場は僅に生産地の隣接區域に止まつてゐるからである。併し道路、鐵道の發展如何によつては國內に於ける其の他の地方のみならず更に外國へも新市場を開拓し得るであらう。彼のコロンビア東部及南部のラノス及セルヴァス(前者は最も牧畜に適し後者は木材たるべき森林を以て覆はるるにも拘らず)現在の如く更に發達せざるが如きは交通機關の欠乏に主なる原因を有するのである。

或州特にアンチオキアの如きは鑛業の發達著しく、就中マルマト及スシオ河の鑛床の如きは金

の埋藏量に於てトランスヴァールに匹敵すと信せられてゐる。又この國の太平洋沿岸は全部砂金層を以て成つてゐると云はれてゐる位であるから之が故に更に發展するに到らば同地方は鑛業上の一大中心地となるであらう。現在、金の産地は主としてアンチオキア州内並カウカ及マダレナ兩河を隔つる山脈内にある。この數千平方哩にわたる地域に於ては砂金の在る所屢々金が見られ又山脈地方の岩石の裸出せる所でも金鑛脈が発見される。而して是等の金鑛からは最新式の機械及方法によつて金を抽出することが出来るのである。

然し此の地方は土人の獵師以外には未だ踏査したものがないのである。最近マダレナ河上流なるネイヴァ附近で金鑛が発見せられ新なる金産出地を加へた。又エクアドール國との境をなすナリーニオ州も金産地として知られて居る。太平洋に注ぐ同地方の諸河川の砂利層をなせる河床は金塊を産し又クアブドより百二十五哩を去るアングエダ、チルヴィゴ兩河ノ水源地方よりも亦金を含有する石英が発見された。

銅鑛脈もコロンビアには多いが金銀の産出が多い爲に餘り深い注意が拂はれてゐない。コロンビアに於ける銅山の眞價が更に良く知らるるに至らば世界有數の銅産出國となるであらう。銅鑛脈はサンタンドール州のオカナ及ヴェレス地方、ボオカ州のモニグイカ及サン、ロサ地方及アン

チオキア州に多く発見される。

同國の白金産出額は露西亞に次ぐ。此金屬は通常金と一緒にサン・ファン河及其の支流流域のチョコ地方に於て砂金と共に発見され又金に比すれば少額ではあるがアトラート河の排水河底にも見出される。千九百二十七年の輸出額は三百四十七萬六千ペソに達した位で之亦重要輸出品の一である。

石炭は國內諸所に産し就中カウカ、ヴァリエ、アンチオキアの諸州に主要炭田がある。少量ではあるがクンディナマルカ及ボヤカの兩州からも採掘せられる。褐炭は海岸地方に埋藏せらる。

コロンビア國內の諸炭田はその位置上バナマ運河を利用し得るので市場への便に富む。斯くて石炭鑛業は將來重要な産業の一となるであらうと思はれる。

石油の産出額は數年來多額に上つて居るが、地理學者は國內の油田を大體太平洋岸とマダレナ河流域をも含むカリビアン海沿岸地帯の二つに分つて居る。マダレナ河地方に於て最も發展したのはバランカ・ベルメハであるが、此地よりカルタヘーナ港迄三百哩に亙る大輸送鐵管は既に完成し、日々の鐵管を通しカルタヘーナへ多量の石油が輸送せられてゐる。斯くの如く當國の石油田は既に素晴らしき發展の緒につき將來の發展計り知るべからざるものがある。

ガンソン、ベンジン、バラフィン、其の他の副産物製造の爲に精油所が數箇所設けられて居る。

鐵鑛脈も國內に頗る多く又アスファルトもサンタンデル港より積出されつつある。

コロンビアは又岩鹽に富む。最も重要な鹽山はボゴタ市より三十哩隔てるシバクエラに在る。岩鹽鑛業はエメラルド採掘業と共に政府により管理されて居る。

主たる製造工業としては綿紡織、硝子、陶器、燐寸、帽子、製粉及製糖がある。

今日エメラルド寶石産額の大部分はコロンビア國より産する。世間一般には金剛石の方がより高價だと信せられてゐるが、實際は高價なる點に於て寶石中エメラルドに勝るものがないのである。例へば瑕疵のないエメラルドは寶石市場に於て同一カラットの無瑕ダイヤモンドの優に三倍はするであらう。印度は寶石類の寶庫として最も良質のエメラルドを出すを以て知られてゐるが、東洋産のエメラルドは綠色でないから近代趣味に適さない。

エメラルドの語原であるスマラグドゥスといふ希臘語は全て綠色の石を意味する爲に、古書の中でこの名稱を有する寶石の正體が判然しないのであるが、今日ではエメラルドなる名稱は全て明綠色をなす(クロミウムの酸化せる爲)綠玉石屬の寶石に限られ、清澄なる六邊形結晶で硝子様の光輝と凹凸ある斷口を有つて居る。組成分子は硅酸、礬土、酸化マグネシウム及曹達である。採掘したての時は比較的軟いが空氣に曝されると硬化する。現在エメラルドの産地は濠洲聯邦、西伯

利亞、英領印度及コロンビア國である。

傳説によればメキシコの征伐者たりしコルテスの所有せるエメラルドは其價格四萬デユカットもしたと云はれ、更にペルー國のマンカ河流域にて採掘されたものは駝鳥の卵大で土人はエメラルドの女神として禮拜したとの事である。コロンビアの諸鑛山は千五百四十年代には既に西班牙人のよつて開掘せられたのであるが、その當時最も埋藏量の多かつたのはボゴタ市の北方七十五哩(百二十一軒)に當るムツ及コスクエス地方と、海拔六千五百呎(二千米)の高さにあり又ボゴタ市の北東に當るソモンドコ(又はチボル)鑛山であつた。

然るに不思議なことにソモンドコは一時閉鎖されてその儘百年以上も密林中に埋れ、再び發見されるに到つたのは今から近々十五年か二十年前のことであつた。

コロンビア政府はエメラルド鑛山區或を私設會社に貸與してゐるが、その採掘事業に關しては之を嚴重に監督してゐる。ムツは最も良質のエメラルドを産するを以て知られ今日迄數千萬弗を出して居る。コスクエスは一時良質の寶石を産出したが、今日では廢抗となつてその場所すら判明しない。ソモンドコは現在では未だ採掘されるに至つてないが充分開拓されるならば優に一年五十萬弗程度の産額を出すに至るであらう。ムツ鑛山よりミネロ河を渡つた彼岸にキンチア鑛山があ

るが之亦將來を囑望されてゐる。

コロンビアに於けるエメラルド鑛脈は甚しく僻地に多く、従つて交通機關の不備の結果採掘に際して原始的方法した用ひられぬのは遺憾である。

例へばムソ鑛山は死火山の噴火口の鉢と覺しく、その採掘作業は誠に原始的なものである。即ち二三十名の鑛夫が鶴嘴と鐵槌とを以て既定方向に沿つて噴火口壁の表面を碎き結晶物を含む綠色の石英を掘り當てる。石英はやがて非常な注意を以て切り取られる。之は寶石が母岩にあるとき非常に脆いからである。斯くて切り取られた碎片は樋の中で勢のよい流水により洗はれやがて排水して沈澱物中から綠色の寶石が探し求められるのである。

最近數ヶ年間の輸出額を擧ぐれば次の通である

一九二二年	一八、五〇五
一九二三年	
一九二四年	四二二、八〇六
一九二五年	二五七、五〇〇
一九二六年	

コロンビアは其國內の氣温が熱帶的の海岸から温帶的の高原地方更に進んでコルデイエラ地方

では山々が一年中白雪に覆れてゐると云つた有様で、頗る變化に富む邦土である。従つて自然美に富むにも拘らず觀光地となるに至らなかつたのである。其名所を示せばボゴタ市の近くにラクエンダマの瀑布があり、水量は兎に角、高さに於てにナイヤガラ瀑布にも勝つて一見の價値は充分ある。又近傍には舊土人の遺跡が多くあつて之亦興味深い。鐵道及道路が發達するに至らば更に多くの觀光客を誘引するに至るであらう。

### 六、外國貿易

最近三ヶ年輸出入貿易價格表 (單位、ペソ)

年次	輸 入	輸 出	差 (-)(+) 入 出 超
一九二六年	一一〇、六九〇、六二九	一一六、六〇二、七四七	(-) 五、九一二、一一八
一九二七年	一一一、九九二、八八七	一〇五、七二八、七六一	(-) 一六、二六四、一一六
一九二八年	一三三、五〇〇、〇〇〇	一一五、五〇〇、〇〇〇	(-) 一八、〇〇〇、〇〇〇

コロンビア國の産業は最近顯著なる發達を遂げつつあつて、國內交通の開くるに従つて農産物の海外輸出を促し、千九百十五年に貿易額四千八百萬ペソであつたのが、千九百二十八年には約五倍二億四千九百萬ペソに達するに至つた。

最近數ヶ年輸入超過の多いのは國內に鐵道、建築等の土木工事が旺に行はれ、その材料の購入さ

れた爲である。故に之等工事にして終了し、其の勞働力が生産的方面に向けられるに至らば、再び貿易も順潮に向ふであらう。

次の表は最近約二十年間輸出入貿易の各五年平均價格を示す

年次	輸 入		輸 出	
	一九二三年	一九二五年	一九二三年	一九二五年
一九〇九—一二	一六、八一八、〇六九	二〇、六四二、四四七	〇、八二	〇、九七
一九二一—二七	二四、三五三、四〇八	三四、二五四、七九四	八、〇四	一一、五〇
一九一八—二二	四九、五七一、七九四	六〇、八六六、二三三	〇、八八	一、三五
一九二二—二七	八八、三八八、八〇三	九〇、三九二、六九六	〇、〇五	〇、〇五
一九一五	一九二三年	一九二五年	一九二六年	
油 脂 類	一、〇四	〇、八二	〇、七一	〇、九七
食料品及嗜好品	一二、八七	八、〇四	八、六四	一一、五〇
燈料及燃料	三、四〇	〇、八八	一、〇三	一、三五
獸 類	〇、〇四	〇、〇五	〇、〇四	〇、〇五
農 具、鐵 具	五、〇〇	六、三四	九、九七	八、九一
雜貨及工藝品	一、三八	一、二五	一、五三	二、〇一
武 器 類	〇、三七	〇、五五	〇、五七	〇、六三

因に一九一五、一九二三、一九二五及一九二六各年の輸入商品品目の各割合は次の通りである

塗料、染料	〇、八七	〇、八三	〇、七七	〇、六三
飯 料 品	一、七四	一、六七	一、四七	一、三〇
ガラス、陶磁器	一、四〇	二、九三	二、四六	二、六七
ゴム、セルロイド、タグロ	〇、二三	〇、五三	〇、五六	〇、五五
貝、龜甲、珊瑚	〇、〇八	〇、二一	〇、一〇	〇、一四
皮革及毛皮類	一、九九	一、一八	一、五七	一、七九
藥 劑 品	四、五九	三、五五	三、六四	三、五三
電 氣 用 品	〇、八九	一、二三	一、二五	二、二七
爆 發 物 等	〇、五〇	〇、二二	〇、三七	〇、六三
樂 器 類	〇、四一	〇、五九	〇、六九	〇、七九
機 關 車	三、七〇	四、三四	六、一一	七、三五
木 材	〇、九八	〇、八九	〇、八九	一、四五
金 屬 類	八、〇五	一二、〇三	一二、五九	一〇、六八
紙書籍文房具其他	二、八五	三、一七	二、五九	四、〇二
石 鹼、香 水	〇、五一	〇、三一	〇、三二	〇、四三
植 物 及 種 子	〇、〇四	〇、〇一	〇、〇三	〇、〇一
織 物 類	三六、五〇	三八、八九	三五、九三	三三、九〇
煙草及其製品	〇、八三	〇、三五	〇、二六	〇、二七

小 旬 郵 便	七、八〇	八、八〇	五、五九	一、五七
其 の 他	一、九四	〇、三三	〇、三二	〇、六〇

輸入相手國としては北米合衆國を第一とし、次で英國、獨國、佛國、伊國、和國、等であるが輸出上の顧客も同しく米國を第一としてヴェネスエラ、英國、和蘭、獨逸、佛國、白國の順位である。

### 七、交通一般

コロンビア國に於ては地勢の關係上鐵道建設に多大の費用を要し、爲に鐵道の發達を困難ならしめてゐる。アンデス山脈は國內南西部地方を三ヶの山脈地帯に仕切り、中央山脈は北部海岸より百五十哩の地點に終り中央山脈と西部山脈との間に起るカウカ河をしてマグダレナ河と合流せしめてゐる。海岸よりボゴタ市に達するには、西海岸よりするを以て最短路とするのであるが、夫れはブエナヴェンツラ港より首府ボゴタ市に至るものである。即ち同港より鐵路アルメンアに至り同地イバク間五十哩の道路の連路に依り再び鐵路首府に達するのである。ボゴタ市より太平洋に出る唯一の出口たるマグダレナ河は急流の爲一ヶ所航行出來ぬ所があり又河口には砂洲が

あつて般路を妨げてゐるが、今や河口の浚渫作業が行はれてゐるから、遠からず遠洋航路船がバランキヤ港に横附け出來る様になるであらう。首府ボゴタへ至る水路はバランキヤ市に始まるが同市は其の海港たるブエルト、コロンビア港から鐵道にて十八哩隔つて居る。旅行者は又カルタヘーナ市から汽車旅行六十五哩でカラマールに出づることが出来る。然し何れにするもガマールより更に汽船に乗り水路ラドラダ市迄行き其處で更に汽車に乗換へる。次でブエルトベルトラン市から再び水路により、最後にヒラルドート市に於てボゴタ市行汽車によるのである。此の行程は總計七日乃至十日を要する。

マグダレナ河はコロンビアに於ける最も重要な水路である。相當大きさの汽船にて六百哩以上、小汽船によれば更に三百哩通航し得。又アトラート河は二百哩、シヌ河は百十哩通航が出来る。カウカ、スリア、セサール、ネチ、レブリハ、ソゴモンその他の小河川も夫々舟運の便を有する。コロンビア國は太平洋及太平洋岸共に外國よりの航路が開かれて居る。太平洋岸なるブエナヴェンツラ迄はバナマより南下する地方便船が定期寄航をしてゐる。その距離凡そ三百五十五哩である。但し大會社船は太平洋の諸港に停船しない。尤も日本郵船會社の南米西岸定期船中ブエナヴェンツラに寄港するものがある。太平洋のカルタヘーナ港とブエルト・コロンビア港はコロン

(巴奈馬)と歐洲諸港間航路の汽船、例へばロイヤル・メール會社(英國)、ヂェネラル・トランスアトランティック會社(佛國)、ヴェローチエ會社(伊國)及トランスアトランティカ會社(西班牙)の諸汽船の定期寄港地となつてゐる。又ブエルト・コロンビア港、カルタヘーナ港はサンタ・マルタ港と共にユナイテッド・フルート會社(米國)、カリビアン會社(ヴェネズエラ國)、クライド汽船會社(米國)その他の汽船により直接米國と連接してゐる、尙此等諸港はコロン港より近海航路船に依ても到着することが出来る。

## 八、鐵 道

當國に於ける鐵道建設事業は近年異常の活況を示し、鐵道の建設、延長共に旺に行はれてゐる。嘗て臺閣に列せしことのあるエステバン、ハラミヨ博士はこの鐵道の發展に言及して以下の如く述べたことがある。曰く『コロンビア國が獨力にて鐵道建設事業に着手し得るに至つたのは全く近年のことに屬す。尤も數年以前に一コロンビア會社がブエナヴエンツラ市よりカウカ流域に到る太平洋鐵道(總延長百八十軒海拔二千六百米の山脈を横斷す)を建設したことはある。然し更に別箇の當國會社は最も建設困難なるカウカ上流地方を通ずるアマガ鐵道(百軒)を作り、而して

政府の補助金及補助設備を以てヒラルドット市及ファカタチヅア間の鐵道をも建設した。因に同鐵道の長さは百七十軒で、海拔三百米より二千八百米に及ぶ地域である』と。

又バナマ國分離の代償として、北米合衆國が當國に支拂つた二千五百萬米弗の内、千九百萬米弗は鐵道建設費に投せられた。近年に至りて鐵道建設費年額は千八百四十萬ペソに上る有様である。尙此の外アンチオキア、カルダス及クンデイナマルカの各州は其の州内鐵道の經費を自辨して居る。コロンビア國人の最多數は鐵道建設費を外債に仰ぐべしと云ふに一致してゐる。政府もこの政策をとり、北米合衆國及歐洲諸會社にして、鐵道建設上の財政的援助を申込みものと商議しつつある。更にアンチオキア及カルダス兩州は、鐵道線延長の爲重要な外債を得たが、此の事實は此等の州の進取性を立證するに足るものであらう。クンデイナマルカ州も亦、同州内の鐵道延長の目的を以て某外國會社と商議をなした。かくして國運發展の唯一方法なりとの確信に基く此の全國的鐵道建設熱は、外資の援助によつて、將來五箇年以内に經濟上、商業上、政治的及社會上コロンビアの外觀を一變せしむるであらうと觀測せられる。

從來の例によれば外國諸會社に對し鐵道建設及經營の特權的コンセッションを與へた結果、コロンビアにとつて満足なる結果を齎した例がないのである。即ち此等會社はコロンビア國とは緊密

な關係が無いので敷設權の許可された區域中建設の容易な地方のみを選び、又無暗と費用節約をした爲に鐵道敷設の用を爲さなかつたのである。又政府は運賃の改正權を保留してゐたけれどもその運賃率は高額の公共の便利を斟酌したものではなかつた。而かも此等敷設權特許の結果、屢々紛議及不平發生の本となつたので、爾來外國會社に對する此種の利權特許は行はれざるに至つた。かくして鐵道擴張の手段としては、政府又は州の自費による建設法を唯一のものとなしたのである。現在經營中の鐵道は左の通りである。

鐵道名	延長距離(杆)	鐵道名	延長距離(杆)
一、アマガ	五八	十、クダ	一〇〇
二、アムパレマ・イバケ	一五	十一、クンディナマルカ	六三
三、アンチオキア	一九〇	十二、ドラダ	一一一
四、バランカ・ベルメーハ	二八	十三、エスメラルダ・ジャンブローナ	一
五、バランキヤ	二八	十四、ヒラルドット	一三二
六、カルダス	八三	十五、ウイラーカケタ	三〇
七、カラレ	一	十六、ナセアロス・アルメニア	一
八、カルタヘーナ	八三	十七、ナリーニオ	一
九、セントラル・デ・ホリザル	一	十八、ノルテ・セアジョン・セグンダ	一五四

ノルデステ	五四
パシフィコ	五七八
プエルト・ウイルチエス	六二
サンタンテール・ティンバ	一
サンタ・マルタ	二二八
スー	四〇
トロンカル・オクシデンテ	四〇
トラングビア・テ・オリエンテ	二八
トリ	七六
合計	二、一六三

上掲表のキロメートルを哩に換算すれば、コロンビア國鐵道の總延長は凡そ一、五三五〇哩となる。又最近五年間に於ける鐵道擴張哩數は凡そ三百五十哩であるが、更に現在建設中の五百哩及建設計畫中の二千杆を加算する時は、近き將來に於ける交通機關の發展振りを推察することが出来る。

### 九、道路

國內道路の中ボゴタ、メデリン、アルメニア、カリ等の諸市より放射する街道はよく舗装され、



自動車の交通に適するが、地方旅行は未だに原始的な手車道、又は車の通らぬ驢馬道によらねばならぬ。併し此等の地では、旅行者にとつて人口稠密な地方に於ける様な贅澤こそ味へぬが、沿道の變つた風俗風景は之を補つて餘りあるのである。古き時代の工事になる道路の中ではメデリン市よりカリビアン海のウラバ灣に至るものが重要で、長さは三百軒程である。

### 一〇、航空路

コロンビア國がバランキヤ、ヒラルドート兩市間に航空路を開いたのは僅か數年前のことである。現在では旅客、郵便物及軽い貨物が輸送されてゐるが、この航空路開設の結果カリビアン海沿岸とボゴタ市間の旅行日數を僅々二日に短縮するに至つた。即ち飛行機は早朝バランキヤ市を出發し途中マグダレナ河に沿ふ數箇所に寄りヒラルドート市に午後遅く到着する。この航空路の終點はヒラルドート市でボゴタ市への旅程の餘りは汽車によつてなされる。一九二八年にはバランキヤ、ブエナヴェンツラ間に郵便物、旅客及輕貨物に對する輸送事業が開始されたのであるが近來に至り擴張せられて、バランキヤ及グワヤキール間、更にバランキヤから巴奈馬のロンに到る航空路をも包含する様になつた。

### 一一、教育

教育は文部大臣及教育審議會の監督下にある。國內各行政区には各一人の督學官を配置し更に共和國、各州及各地方に視學なるものを置き、市には市學務部を設置してゐる。普通教育は國教（羅馬カトリック教）を基として行はれ、學校の系統は大體、小學校、中學校、師範學校、工業學校、美術學校及職業學校に分かれて居る。

小學教育は義務教育で授業料は免除される。就學兒童年齢は七歳より十五歳迄で州の管理する所である。學課程は五年とし、時としては六年である、最近の統計によれば同國內小學校數凡そ六千五百五十校、就學兒童人員大略四十一萬四千人である。中等教育は中央政府の管理下にあるが、經費は三百三十二校中の二校を除き、爾餘は州、都市、個人及宗教團體により支辨される。小學校卒業者は四箇年の普通科に入學を許される。其の科目を示せば次の通りである。國語（西語）、文法、幾何、代數、博物、物理、化學、衛生、地理、歴史、佛語、英語、修身、宗教、圖書、簿記及體操で更に三箇年の初步的の法科、醫科及工科がある。師範教育は國立師範學校（十三校）州立師範學校（三校）及中學校（四十校）に於て行はれる。入學資格は中學校と差異がな

い。學年は五箇年で科目は一般中學校の科目(英語及修身を除く)の外に生物學、農業學、心理學、教育學史、教育學、教育實踐、音樂及手工科が加はる。高等師範教育はボゴタ女子高等師範學校(學年は三箇年)に於て與へられる。主なる工業學校としてはボゴタ市に中央工業學校があるが同校の基礎科目の外に實修として機械、織物、大工、電氣、圖書、彫刻及裝飾等を教授する。又養蠶、煙草栽培、機業等に關する職業を始め數多の職業及技藝學校がある。ボゴタ市には官立の高等程度の農業校、獸醫學校、商業學校があり、藝術教育機關としては美術學校と音樂學校がある。又諸州夫々美術學校を設置してゐる。特殊教育につきては、盲學校(その内一はボゴタ市に在り)、クンディナマルカ市の聾學校及メデリン市に於ける盲啞學校を擧げる事が出来る。

専門教育機關としてボゴタ市に國立大學がある。千五百七十二年に創立された古い學校で、法政科、醫科、齒科藥學科及工科を置て居る。メデリン市には國立鑛山學校があり又ボゴタ市には別に私立大學もあつて法科及社會學科を存する。その他州立大學も次に示す如く尠くない。即ちボリヴァール大學(カルタヘーナ市)、アンチオキア大學(メデリン市)、ナリーニオ大學(バスト市)、カウカ大學(ボバヤン市)、マグダレナ大學(サンタ・マルタ市)。

ボゴタ市のコレヒヨ・マヨール・デ・ヌエストラ・セニヨール・デル・ロサリオは中等及高等教育に關

する最も重要な私立學校で法律學、政治學、哲學、文學等の諸學部がある。

## 一二、一般衛生狀態及施設

國內に於ける衛生狀態は次第に良好となりつつあつて、過去に於て屢々流行した黃熱、腸チフス、赤痢も防遏方法の進歩と共に激減した。チフテリアは各地に發する事あるも蔓延するには至らず、發疹チフスは首府ボゴタ市にて一六三九年以來屢々流行を來したことがある。近年あまり流行しない様だが痘瘡と共に土民間には年中發生してゐる。痘瘡は流行の絶えたことがないので目下種痘の普及に努めつつある。マラリアは温熱兩地に地方病として侵潤し、デング熱も一九二三年には人口の七〇%を襲つたと云ふ。

醫科大學はボゴタ、メデリン及カルタヘーナ三市にあり何れも六ヶ年の課程を要す。

醫療機關としては各首要都市には病院が設立せられてある。衛生機關としては共和國政府衛生部十二指腸部があり地方十三縣に各衛生部がある。又研究機關としては首府ボゴタ市にサムベル、マルチネ衛生研究所がある。之は細菌學、衛生學上唯一の學術的研究所である。

尙政府は防疫衛生に銳意し其の結果黃熱病は其の媒介蚊なるステゴミアの撲滅作業の進展に依り、最早蔓延する虞なきに至り腸チフスも水道の水をカロール消毒法により消毒することにより

激減するに至つた。  
狂犬病豫防接種も亦行はれ、尙結核、花柳病、幼児死亡の豫防につきても種々計畫施設せられる處がある。  
其外衛生局と獨立して十二指腸虫病局があり、ロックフェラー財團と協力して驅除作業に努めてゐる。

### 一三、本邦とコロンビアとの關係

#### (イ) 外交關係

コロンビア共和國と我國の間には千九百八年通商航海條約が締結された。同條約には外交使節交換の事が規定されてゐるが未だ相互に使節の派駐を見ないのである。尙本邦からはボゴタ市に名譽領事を任命して今日に至つてゐるが、コロンビアよりは横濱に總領事を駐在せしめてゐる。

在ボゴタ帝國名譽領事  
在横濱コロンビア總領事

レイス・カルロス・コラル  
カルロス・クエルゴ・ボルダ

#### (ロ) 貿易關係

一九二三年に於て日本よりの輸出額は四八、八二六ペソで列國中第十七位に在り一九二四年に

は二六六、四二八ペソで第十一位、一九二五年には四一七、〇三八ペソで第十位、一九二六年には順位は不明なるもその價格五〇三、二八九ペソで漸次増加しつつあるは喜ぶべき現象と云はねばならぬ。然も日本より直航々路もなく總てに於てハンディキャップのある現狀に照して大に將來があるの感がある。

一九二六年度に於ける日本の對コロンビア輸出貿易(單位ペソ)を示せば次の通りである。

絹	布	五〇三、二八九
シャツ、ズボン下		一四〇、四〇九
アイボリーナット製品		七五、三三〇
タ	ホ	五八、七三九
綿	粗	二四、六二八
寢	産	一九、〇五五
貝	鈕	一五、〇七八
玩	具	一五、〇一一
麥	稈	一一、三三四
陶	器	一一、九四二
陶	食	九、〇二〇
花	子	八、八八三

絹靴下	八、三七五
包紙	四、七五五
靴紐	三、八〇八
フランネル	三、七三四
ド	三、五六九
セルロイド櫛	二、八九七
其他	五〇、七七三
總額	五〇三、二六九

以上の如く日本よりコロンビアに對する輸出品は、絹布綿布等織物を第一とし、貝釦、玩具、陶磁器等が之に次いで居る。

コロンビアより日本への輸出は千九百二十四年に六、五三三弗で第十九位を占めて居るが同二十五年には殆んど無くなつた。

以上の如き貿易不振の原因として (1)距離の遠隔にして交通の不便なること (2)本邦定期船の寄港せぬこと (3)海上運賃の比較的高いこと (4)歐米の支拂條件に追隨し得ざること (5)宣傳方法の不備 (6)調査機關の不足 (7)金融機關の不備等が挙げられるのであつて、我國としては此等の點に意を用ひ大に販路の開拓に努めるべきであらう。

(後記、最近日本郵船の船舶が寄港するに至り、且我國事業家等の此等に注目し、且つ最近同國を訪るるものも多きに至つたことは欣ぶべきことである)  
本邦よりの輸出重要品に對するコロンビア國の稅率

稅番	品名	單位	稅額
三一〇	磁器	總量每斤	〇・一五
三一	陶器	同	〇・〇八
三八四	セルロイド製品	同	一・〇〇
四〇一	同櫛	同	一・〇〇
一三八三	ズボン下及襯衣	同	〇・九〇
一三九七	綿製靴下	同	〇・八〇
一四三八	綿靴下	同	一・〇〇
一四三七	綿布	同	〇・三四
一四八三	タオル	同	〇・七〇
一五二一	花	同	〇・二〇
一五〇一	齒	同	〇・七〇
四四九	貝ボタン	同	一・二〇
一七四九	絹手巾	同	三・五〇

一七五九	クレスボンデチナ	同	三〇〇
一七六一	絹 布	同	四〇〇

(ハ) コロンビアに於ける日本人

コロンビア在留邦人の分布状態を示せば大體次の如くである

昭和三年十一月調

カリ市及其の附近	二九名
ボゴタ市及其の附近	三名
バランキージャ市其の附近	八名
メデリシ市	一名
マニサレス市	一名
合 計	四三名

併し後述の如く、昭和四年十月以來海外興業會社送金の植民其他があるから、現在では其の三倍位の人數になつてゐる筈である。カリ市在留邦人の多くは小資本で野菜栽培、食料品店、理髮業等を營んでゐるが、各自堅實に努力してゐるから同地邦人の將來は有望であると推察される。バランキージャ市在留者は二名の雜貨店營業者を除く外は理髮師であるが、ボゴタ及メデリン兩市在留者中には高等教育を受けた者多く、土木建築業、庭園師、自動車代理店、煙草製造業に従

事し、何れも相當にやつて居り可成の社會的地位を占めてゐるものも兩三名ある。

コロンビア國民は官民共に日本人に對して好感を有してゐるし、法律上より云ふも入國に何等制限がないから邦人入植の見込如何が問題となるのであるが、先づ勞働移民について云へば之は次の様な理由で甚だ實現性に乏しい。(一)コロンビアには大規模な産業が起つてゐないこと。(二)勞銀(殊に農業勞銀)が低廉なること。(三)勞銀に比して生活費が高いこと。然らば資力を有する植民は如何と云ふに、食料品については或程度迄自給出来るし、且農産物の高價、勞賃の低廉と云ふ好條件が揃ひ甚だ有利と考へられる。又當國の農法を見るに頗る粗放的であるに拘らずその收穫成績は悪くないし、其の上米の如き此の國の主食物が其の供給を殆ど全部外國に仰がねばならぬ狀況であるから、斯る土地に本邦農民が移住するに於ては必ず其の結果に見るべきものあるを思はせるのである。又小資本を以て小規模工業を起すことも有望である。以上は我官民數次の視察報告に照して大體肯定せらるゝのであるが、昭和四年に海外興業會社は社員を同國に派遣してエル・ウアイエ・カウカ縣内に百五十フアネガータ(我約六十五町歩)の土地を購入し、植民十家族(男女五十七名)を入植せしめた。該家族植民は五家族宛、昭和四年十一月及同五年四月の兩度に入植を終り、現に同地で玉蜀黍、陸稻及自家用野菜等を栽培してゐる。

右農場はエル・ウアイエ・カウカ縣首都カリ市の附近に在り、ブエナベントウラ港からも遠からず、頗る交通の便に富み氣候、地味共に申分ないから將來の日本人植民發展上適當なる足掛となるであらう。

## 附 録

### 移植民法規摘録

一九二五年産業省が蒐録印刷せる「入移民に關する現行法規類」(Disposiciones vigentes sobre inmigracion-Edicion de Colombia, Ministeris de Industrias) に據りて現在コロンビア國にて施行せられつゝある移民關係法規中重要な條項を左に摘録する。

#### (イ) 一九二四年十一月十日附産業省より在外國領事宛訓令

爾今コロンビア國渡航の外國人個人の旅券査證に際し左記の條に御遵守相成度

一、一九二二年法律第一一四號所定の移民中第一種移民に屬する個人の旅券に對しては渡航運賃の外にコロンビア海港上陸後に要する諸費用に充つる爲金二百ペソ以上を所持するに非ざれば査證せざること。

但し、豫めコロンビア内に設けられたる會社又は其の他の機關と契約し其の就職につきて確實なる保證あるもの及びコロンビア國內に住する四等親以内の親族者の呼寄により其の

業務補助の爲に渡航せんとするものに對しては前記の條件に満ざる場合と雖も旅券査證を行ひ得るものとす。

二、相當の企業資本を携へて來航せんとするもの、或は商用、觀光等の目的を以て來航せんとするものに對してはコロンビア内地に於ける交通、狀況、商業狀態、農業地帶、主要産業中心地等に關する説明を與へ出來得る限りの便宜を供せられたし。

上記在外領事官に對する發令の趣旨を聞くに從來往々無一文の移住者が此國に來航し入移民保護の豫算なき當國に在りて其の都度之が救濟の爲に甚だ迷惑を感じた爲だと云ふ。

一九二二年制定の移植民保護獎勵に關する法律第一一四號は豫算の關係上未だ實施せられず夫迄の暫定手續として此種の命令が發せられて居るのである。

(ロ) 入移民及外國人に關する一九二〇年(十一月三日)の

法律第四八號

第一條 コロンビアの領土は本法に規定する除外例を除き凡ゆる外國人に對し開放せらる

第三條 コロンビアに入國せんとする外國人はその來船港又は最寄の地に於けるコロンビア領事は其の駐在なき場合は孰れかの友邦領事より發給する左記條項記載の旅券を携帯することを要す

す

A、姓 名

B、年 齡、性 別

C、出生地、國籍、最近の住所

D、職 業

E、教 育 程 度

F、未婚又は既婚の別

G、コロンビア渡航の目的

H、健 康 狀 態

I、血 屬 人 種

J、善 行 證 明

第四條 上記旅券發給に當り領事は當該願出人の健康證明書及び素行證明書の提示を求め之を檢閲すべし

第七條 左記諸項中の孰れかに該當する外國人は共和國領域内に入るを禁ず

A、肺結核癩病、トラホーム及其他檢疫所に於て收容取扱を爲さざる傳染病又は重患者  
但し發疹熱 (Fiebris eruptivas) の如き種類の重患傳染病に犯されたるものは費用當該人負擔  
の下に檢疫所に收容すべし

B、精神病患者又は神經痲痺症、慢性酒精中毒症、運動失調症、癲癇、同痴患者等  
但し右の場合と雖も健康家族の同伴者として入國するは差支なし

C、常習乞食、浮浪人、娼妓等

D、共和國官憲には國法に對する反抗を煽動教示又は實行するもの。暴力を以て政府を倒壊せ  
んと企つるもの。無政府主義者、共產主義者、重き破廉耻罪の刑を受けたるもの

(ハ) 入移民並農業植民地に關する一九二二年法律第一一四號

入移民の分類

入移民を分ちて左の二種類とす(第一條)

A、勞働者又は日給勞働者として入國するもの

B、技藝又は商工業企業の爲入國するもの

前者に對しては携帶金上何等の條件なきも最低限二百ペソ以上の資本金を所持するものは之を後

者と認む。

(註) 右記第一種移民即ち勞働移民所持金につきては前記の通り一九二四年十一月十日附サーキュラーを以て第二種移民  
同様少くとも二百ペソ以上携帶を必要とするに至れり。

移民の意義

日傭勞働者、技藝人、商工業者、農業者、教員にして共和國に移住せんとする者は年齢六十歳以  
下にして身元、素行、生計能力を證明し得るものは凡て之を入移民と認む(第八條)

入移民に對する特典

A、入移民到着後五日間當該移民局に宿泊保護を受く

B、移民法及其他法規による移民局の指示を受く

C、日用手廻品、衣類、家具、農具其他自己の職業上の必要品の輸入に對し國、縣、郡税を免せ  
らる

D、到着地より自己の赴くべき地點迄の國有交通機關又は政府と特契ある私有交通機關に依る旅  
行券を受く

E、國有未開墾地二十五ヘクタールの交附を受け得



F、各移民局に於て出來得る限り旅行上の保護を加ふべし  
 G、入國の翌年迄に貧窮に陥りたる場合は救済を受くるを得

入移民輸送船に對する特典

二十名以上の入移民輸送船舶に對しては其入移民が正當なる旅券竝に必要書類を具備所持せる時に限り噸税二割五分割引の特權を得べし(第十三條)  
 但し法規により入國を許されざるべき入移民を誘入したる船舶船長は自己の負擔にて該移民を送還する義務あるものとす。  
 然らざる場合金貨五十ペソ乃至一千ペソの罰金に處せらるべし。

農業植民地の設定

政府直轄の下に又は植民事業團體をして農業植民を設定せしむる爲各縣又は各管區に國有未墾地各十萬ヘクタール以内を振當て之に對し充分有效なる保證を提供する事を得。  
 但し孰れの場合に在りても豫め計畫書を添へ技術者をして該植民地帯の實地調査に當らしむべし。

植民地入植の各植民は各二十五ヘクタールの土地を無償提供せらるべし(第十七條)

右植民地帯の調査費、宣傳、交通經費及入移民保護、道路、宿舍、工場、其他農業植民地構成上必要とする一般施設に對する補助の爲毎年十萬ペソを歲計豫算の計上すべし政府は農業植民地設定の爲二十萬ペソの借入契約を結び得べし但し之が償還方法としては内十萬ペソは前期本條所定の十萬ペソにより殘額十萬ペソは他の公共事業を阻害することなき様一般歳入中より支出すべし  
 (第十八條)

(備考) 以上一九二二年法律一一四號は移民保護獎勵とも稱すべきものなれども實際は豫算の關係上未だ實施せられ居るもの殆どなし但し農業植民地設定に關するものは漸く實行の域に進みつゝあり。

378  
303

NO.

PATENTED NO. 119016

"F-M"

**PAMPHLET BINDERS**

are carried in stock in the following sizes

Catalog No.	High	Wide	Thick
851(菊倍)	30. cm. x	22.5cm. x	1cm.
852(四六倍)	26. " x	18.5 " x	1 "
853(菊)	22.5 " x	15. " x	1 "
854(四六)	18.5 " x	12.5 " x	1 "
855(特)	24. " x	15. " x	1 "

\* Special sizes are made to order

LIBRARY SUPPLIES IN ALL KINDS  
**F. MAMIYA & CO.**  
OSAKA-TOKYO-FUKUOKA

終

